



愛知陸協広報

第 26 号

平成 24 年 7 月 10 日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

祝 ロンドン五輪出場



室伏 広治
ハンマー投
(ミズノ)



中村 明彦
400mH
(中京大学)



山本 聖途
棒高跳
(中京大学)



中野 弘幸
男子 4×400mR
(愛知教育大学大学院)



市川 華菜
女子 4×100mR
(中京大学)

(写真提供: 共同通信社)

代表5名のロンドンオリンピックでの活躍を期待

専務理事 外山 幸男



2012年度は、選手の活躍から明るいスタートができました。

ロンドンオリンピックの日本代表選手に愛知から5名の選手が決定しました。日本選手権に18連覇でメダルの期待が最も大きいハンマー投の室伏広治選手(ミズノ)、決勝のラスト10mの粘りの400mHの中村明彦選手(中京大学)、冷たい雨中のジャンプオフを制した棒高跳の山本聖途選手(中京大学)と、リレー代表候補として男子4×400mRに中野弘幸選手(愛知教育大学大学院)と、女子4×100mRの市川華菜選手(中京大学)が選出されました。5名のオリンピック代表が愛知から出場するのは2000年のシドニーオリンピック以来のことで大変喜ばしく、大会での活躍を願っています。愛知を挙げて応援をしたい。

日本選手権と同じ時期に、ジュニアの日本代表として、アジアジュニア選手権(コロンボ)に3名が出場しました。5000mの神野大地選手(青山学院大学)、400mHの岡田壮平選手(法政大学)、そして女子800mの竹内麻里子選手(中京大学)が海外遠征をしました。オリンピック日本代表に続くことができるように、今後の活躍を期待しています。

愛知陸上競技協会は一般財団法人としてのスタートを切りました。昨年2月から法人化準備委員会を立ち上げ、23年度中の設立を目指し財団法人としての規約である「定款」の作成に着手し、月1~2回の会議で詰めました。法人の新役員は23年度の愛知陸協役員をベースに、理事23名、監事2名としました。評議員の選定については愛知県下4地区陸上競技協会から各3名と学識経験者3名の15名としました。基本金300万円は協会で準備し、「定款」は公証役場・日本陸連の指導のもと最終案は1月の理事会、評議員会で可決されました。3月の新理事会で法務局への申請が承認され、平成24年3月1日をもって一般財団法人として発足しました。

名古屋ウィメンズマラソンは13,114名がスタートし、12,726名が制限時間以内にフィニッシュしました。完走率97.0%は、大規模なマラソン大会として非常に高いものでした。参加者からは次回の参加希望の声が多く聞こえてきました。647名の競技役員と6,500名のボランティアの協力により、大会は無事に終了できました。関係の皆さんに改めて感謝いたします。2013年に向けて更衣室やトイレの改善等の課題が見つかりました。愛知陸協としては反省を生かして、より質の高いマラソン大会になるよう改善に努めていきます。今後とも一層のご協力をよろしくお願いいたします。

名古屋ウィメンズマラソン フィニッシュの様子



国体候補選手にオリジナルTシャツを配付しました。競技会・合宿・練習会等で着用し、意欲的に競技に取り組んでくれることを期待しています。来年には、全日本中学校陸上競技選手権大会が瑞穂陸上競技場で開催されます。中学生には地元開催のチャンスを生かし、活躍してほしいものです。大会の運営準備はもとより、選手が晴れ舞台で実力が発揮できる審判団の体制づくりも行なっていかなければなりません。中学校の先生方には、今年各種大会から経験を積み重ねて、本大会では競技役員の中心となって運営にあたり、素晴らしい大会にしてほしいものです。

専門委員会報告

総務委員会

今年度より、学連を除き高校の登録も web システム化され、登録方法が統一されました。3月1日より24年度の登録手続きが開始され、事務局に問い合わせも多数寄せられました。各登録担当者の協力もあり、現在まで大きなトラブルもなく登録手続きが行なわれています。年々登録人数が増加しており、5月末現在で今年の総数とほぼ同数になっています。特に中学の登録数が増加しているのが特徴です。

3月のウィメンズマラソンでは、女性の底力を感じました。ギネスにも登録され、世界を代表する大会の一つとなりました。総務委員会は各会議の調整役をしてきましたが、来年も今年以上に成功するよう準備をしたいと思いません。

登録者数の推移

年度	登録者数
20	14,852
21	15,928
22	16,715
23	17,559
24 (5月末現在)	17,198

(稲垣 裕)

競技・情報処理委員会

昨年度末、全国競技運営責任者会議において以下のような事例についての検討が行なわれた。

Q

IAAF (国際陸上競技連盟) では、爪や髪の毛は身体の一部だがウェアやビブス (ナンバーカード) の痕跡は認めないとしている。しかし日本陸連では明確な区別が難しいとして、すべての痕跡を計測対象として扱っているが、問題はなにか?

A

着地痕跡判定のトラブルを防ぐ目的の国内ルールとして、走幅跳・三段跳での背面ビブスをつけない方法を採用してはどうかという案が出たが、賛否両論あり、各陸協で試行しながら、もう1年様子を見ることとする。適用する場合も「ビブススポンサーの了承が得られれば」が条件。スポンサーがない場合は主催者の判断による。

現在は、日本陸連では1年間の試行を経た後「走幅跳・三段跳の場合も走高跳・棒高跳と同様にビブスは胸または背のどちらか一方に着けるだけでよい」とする国内ルールを今年度末の全国競技運営責任者会議で提案・検討する予定となっている。

このため、今年度このルールを試行するにあたっては、必ず大会要項あるいは競技注意事項にこの旨を記載し、あくまで特例として実施することを申し合わせており、しかもその試行適用種目は跳躍種目に限定されている。

以上のことを留意し、各地区陸協主催の大会においても運営をお願いしたい。

(安田 純久)

施設・用器具委員会

I 2011年度改定における愛知に関係する主な課題について

(1) 「第1種陸上競技場の補助競技場は第3種陸上競技場とする。また舗装材は同等とし、表面仕上げ及び硬度は主競技場と同一とする」

* 瑞穂陸上競技場は本陸と北陸で同一ではない。継続検定に向けて、検定員による事前指導 (ウレタンの劣化等) と業者による地盤の劣化等の調査をした。その結果に従って、厳しい財政状況であるが名古屋市教育委員会スポーツ振興課の努力で、北陸の全面改修の予算が付いた。今後は、全国大会に向け綿密な打合せが大切になってくる。

(2) 投てき用芝生は、投てき距離が十分であるようにスペースを確保する。多目的競技場の仕様を意図する時は、延長最大106m×69mとする。ただし、以下に定める条件に適合する競技場の延長最大107m×71mまで認める。延長を認める競技場の数は国内47ヶ所以内とし、検定時に以下の条件を満たさないことが判明した時は、公認の資格を取り消す。

<条件>

①多目的仕様として認められる第1種競技場

②全投てき種目における決勝の実施が可能であること

* 瑞穂陸上競技場の本陸の芝生の広さ106m×69mから106m×71mに変更になり、バック側フィールド内の棒高跳びのピットが廃止になった。

(3) 移行措置が無くなり、「既設2種陸上競技場のハンマー投の囲いパネルの高さは前面9m、後部7mとする。」円盤投の囲いは従来通りであるが、ハンマー投の囲いで兼ねることができる。

* 第2種陸上競技場では早急の予算化をお願いしたい。知多陸上競技場では予算化され、7月には整備される予定である。

II 全国大会 (日本ジュニア・ユース陸上競技大会) に向けての器具関係整備要望については、瑞穂陸上競技場 (本陸) 継続検定に向けての予算化が2012年になされる。要望をまとめ、名古屋市に6月末に提出できるよう準備をしている。青木・平川に早めに具体的に提案して申し出てください。

III 2012年3月19・20日の2日間で、豊川市陸上競技場新設第3種公認検定を、陸連本部から大島検定員、愛知陸協からは青木と平川の3名で、豊川市教育委員会市民体育課の中村課長、木和田課長補佐が見守るなか順調に実施できた。晴天で気温がほぼ20℃と検定最適温度で、温度補正が必要なかった。新設の全天候の陸上競技場で、主な特徴



クラブ紹介⑳ トヨタスポーツマンクラブ

私たちトヨタスポーツマンクラブは「明るく楽しく元気良く走る」をモットーに活動しているクラブです。

創立は1978年、当初はトヨタ自動車の社員が中心でしたが、現在は走ることが好きな方なら誰でも大歓迎で、近藤健志監督、鈴木裕美マネージャーのもと63名が在籍しています。

上は74才から若手は22才まで幅広く、いろんな会社、いろんな職場、幅広い年代の方が在籍していますので、活動を通して新たな出会いや、先輩からたくさんのお話を教えていただいたり、単に走ることだけでなく良い社会勉強の場ともなっています。私のこのクラブの好きなところは、駅伝大会などクラブのイベントにはベテランから若い世代までが大勢参加し、一生懸命、協力しながら選手をサポートするなど、みんなの仲がよいところです。

クラブの活動としては、4大駅伝大会（富士登山・名岐・渥美半島・西濃）を中心に各地で開催されるロードレースやトラックレースに参加しています。5月のゴールデンウィークから7月末までは、豊田市の猿投山でロードや登山道をお借りして登山される方が出来るだけ少ない毎週土曜日の早朝に練習を行なっています。また、シーズンの最初と終わりにクラブのメンバーで清掃活動を行なっております。今年は4月21日に実施し、ゴミ、空き缶、掃除機、冷蔵庫にバイクを回収しました。少しはきれいになったかなと思います。

富士登山駅伝競走大会には昭和54年から参加し、今年で23回目の出場となります。

若手の頑張り、ベテランのサポートの甲斐あって2008年から一般の部4連覇中です。

自衛隊チームに混ざって総合でも7位、今年はさらに上

位を目指そうとチーム一丸となって頑張っています。

名岐駅伝ではクラブチームNo.1とトップ10入りを目指しています。2010年はあと数秒のところまで11位に終わりましたが、これからも目標以上のものを目指して行きたいと思います。

また女性メンバーも9名在籍し、西濃駅伝にチームとして出場し、連続入賞を果たしています。



2011年富士登山駅伝 4連覇 2011年チャリティラン in Mt. 富士
ロードレースにおいては10km、ハーフ、フルマラソンなど全国各地の大会に出場していますが、近藤監督が2時間21分のベスト記録を持っている為、それを追い越せ、追い抜けて頑張っています。

おかげで今年、男性では2時間18分29秒、女性では2時間54分10秒のベスト記録が出ました。

チーム内でも切磋琢磨しながら和気藹々と走りを楽しんでいます。これからも走ることを通じて、メンバーが明るく楽しく元気良く進んでいけるように、また、常に走らせていただくことに感謝して、社会にも貢献できるチームでありたいと思います。今回、このような機会を与えていただきました愛知陸協の皆様、ありがとうございました。

クラブ掲示板 <http://www1.rocketbbs.com/110/m.cgi?id=8307750>

(クラブ幹事 山田 和広)

は①ホームストレート直線9レーン②Bゾーン（第2曲走路内）にも棒高跳のピットあり③芝生に向かったの砲丸投ピット④長距離の練習に配慮されたバックストレート側に勾配のある坂とスタンドとの間にある周回走路も全天候舗装に⑤フィールド内の0レーンのトラック走路も全天候舗装に⑥ハンマー投囲いの前面パネル9mと、安全性が考慮されていること⑦用器具関係は全て新品で。

*公認大会での陸上競技場開きとして、4月21日に駅伝強化豊川長距離競技会が開催された。基幹役員を中心に、フィールド競技を含めた大会の開催を重ねる毎に、電子機器・用器具等の取扱いを覚えていただいて、スムーズな運営と維持管理のメンテナンスもよろしく願います。

(青木 実)

審判委員会

平成24年度も競技会が始まり全国大会への予選会も県大会、東海大会へと進んでいる最中です。審判員の方々には競技会の審判業務にご協力いただき感謝しています。

平成23年度は名古屋国際女子マラソンから衣替えした、3万人規模のマラソンフェスティバルが東日本大震災から一年経った3月11日に無事終わりました。この大会は、今年度も2013年3月10日にナゴヤドームを発着とし行なわれます。今回の反省が少しでも生かせるようにがんばっ

ていきたいと思っています。そのためにも、多くの審判員の方にご協力をいただき、成功させたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

もう一つの全国大会である、日本ジュニア・ユース大会も無事終わることができました。今年度も10月に控えています。愛知陸協も全力を挙げて本番に備えていきたい。

また、来年度は全国中学校陸上選手権が瑞穂公園陸上競技場で行なわれます。特に、中学校関係の方々には全日中へ向けての研修を積極的に行なっていただきたいと思

います。マラソンフェスティバルと日本ジュニア・ユース大会の調査ハガキをお配りしました。是非出席の方向で返信をお願いします。また、お知り合いでハガキが来ないよ、とか、迷って見える方がいましたら、是非、出席いただけるよう

にお誘いください。平成24年度も新たに86名の方が公認審判員の仲間入りをしました。ご指導をよろしくお願いします。

平成24年度の第1回B級公認審判員取得講習会を中京大学で行ない23名が合格をし、これから実習を行なう予定です。ご指導よろしくお願いします。また、第2回を10月28日（瑞穂公園陸上競技場審判員室）に行なう予定です。多くの方が受講するように、案内、お知らせをお願いします。教え子、同僚などに勧めて頂き、若い力を育てていきたいと思

競技者や観客から見て審判なのか、顧問なのかかわからない服装で審判を行なうのではなく、普段の競技会から全国大会を意識した服装、審判業務を心がけるようお願いいたします。

最後に、毎回お願いをしています審判調査ハガキを必ず出すように重ねてお願いします。

(榊原 茂)

選手強化委員会

2012年度強化委員会行事は下記の通り派遣行事、競技会、強化行事・合宿・練習会、教室・練習会、指導者養成の5つの部門行事を予定しています。今年度の岐阜国体より種目の変更され来年の東京国体まで継続されます。昨年まで派遣行事であった福井スーパー・レディース駅伝は強化行事に変更しました。

2012年度 強化委員会行事

<派遣行事>

行事名	期間	派遣日程	場所
国民体育大会	10月5日(金)～9日(火)	10月3日(水)～9日(火)	6泊7日 岐阜県
ジュニアオリンピック	10月26日(金)～28日(日)	10月26日(金)～28日(日)	2泊3日 神奈川県
都道府県女子駅伝	平成25年1月13日(日)	1月10日(木)～13日(日)	3泊4日 京都府
都道府県男子駅伝	平成25年1月20日(日)	1月18日(金)～21日(月)	3泊4日 広島県

<競技会>

競技会名	期日	場所
国体選考・強化普及競技会	4月14日(土)・15日(日)	瑞穂
国体選考春季選抜競技会	4月22日(日)	瑞穂
愛知ジャンプ競技会	10月13日(土)	知多
投てき競技会	11月10日(土)	瑞穂北
駅伝強化第1回豊川長距離競技会	4月21日(土)	豊川
駅伝強化第2回豊川長距離競技会	9月22日(土)	豊川
第1回駅伝強化長距離競技会	6月23日(土)	瑞穂北
第2回駅伝強化長距離競技会	10月13日(土)	知多
第3回駅伝強化長距離競技会	11月10日(土)	瑞穂北
競歩競技会	平成25年2月23日(土)	瑞穂

<強化行事・合宿・練習会>

行事名	期間	場所	備考
国体選手合宿①	8月27日(月)・28日(火)	1泊2日 一宮	国体代表選手
国体選手練習会	9月17日(月)	1日 瑞穂	国体代表選手
国体選手合宿②	9月22日(土)・23日(日)	1泊2日 一宮	国体代表選手
国体駅伝強化合宿	8月25日(土)～28日(火)	3泊4日 富士見	中・長距離

スーパーレディース駅伝	11月10日(土)・11日(日)	1泊2日 福井	選抜選手
都道府県駅伝合宿①	12月25日(火)～28日(金)	3泊4日 蒲郡	都道府県駅伝代表選手
都道府県駅伝合宿②	平成25年1月4日(金)・5日(土)	1泊2日 瑞穂北	都道府県駅伝代表選手
国体強化指定選手①	12月22日(土)・23日(日)	1泊2日 知多	棒高跳
同②	12月22日(土)～24日(月)	2泊3日 内海半田	中・長距離
同③	12月24日(月)～27日(木)	3泊4日 中京大	短・跳・障・歩
同④	12月25日(火)～28日(金)	3泊4日 蒲郡	投擲
同⑤	平成25年1月12日(土)	1日 瑞穂	投擲
同⑥	1月19日(土)	1日 知多	短・跳・障・歩
同⑦	2月3日(日)	1日 中京大	投擲
同⑧	2月9日(土)	1日 瑞穂	短・跳・障・歩
同⑨	2月17日(日)	1日 中京大	投擲
同⑩	3月3日(日)	1日 知多	短・跳・障・歩・投
ジュニア強化練習会①	12月1日(土)	1日 知多	愛知全中対策
同②	1月27日(日)	1日 知多	〃
同③	2月16日(土)	1日 瑞穂	〃
同④	3月20日(水)	1日 知多	〃
ジュニア強化合宿	未定	1泊2日 未定	〃
全国総体練習会	7月7日(土)	1日 瑞穂	全国総体出場者の練習会
全日中練習会	8月14日(火)	1日 瑞穂北	全日中出場者の練習会
国体選手リレー練習会	8月下旬・9月中旬	2回 瑞穂北等	国体選手のリレー練習
ジュニアオリンピック練習会	9月・10月	4回 瑞穂北等	ジュニアオリンピックのリレー練習

<教室関係>

行事名	期間	場所	備考
競歩教室	4月から各月の第1土曜に開催	9回 瑞穂	12・1・2月は除く
キッズプロジェクト	未定	1日 未定	開催予定

<指導者養成>

○JAAF コーチ推薦者(2名)(日体協公認コーチ)

氏名 嘉賀正泰 所属 阿久比高校

氏名 石田 桂 所属 安城学園高校

○小学生指導者講習会 11月18日(日) 瑞穂

講師: 谷寄好美

(北村 肇)

記録委員会

名古屋ウィメンズマラソンは、次年度への反省点を残しつつも大成功のうちに終わることができたと思います。2位の尾崎好美（第一生命・東京）が8月のロンドンオリンピック代表に決定し、1996年アトランタオリンピックに女子マラソンが登場してから名古屋国際女子マラソンの出場者の中から代表選手が5大会連続で選ばれました。

3月までの道路競技からトラック & フィールドのシーズンに入り、すでに2種目に県新記録が、1種目に県高校新記録が誕生しています。4月は各地域陸協の記録会、県高校総体支部予選会と、既に10数競技会が開かれました。記録担当の方々には公務多忙の傍ら記録の整理・報告いただき、順調に日本陸連へ記録公認申請が終わりました。

毎年のことですが、近年、県外の競技会への出場が多くなっています。愛知陸協事務局からの県外出場認知書を添付して出場していると思いますが、必ず結果を報告してください。

◎5月までに更新された愛知県新・タイ・最高記録等
愛知県新記録

- 男子 400m 45.81 中野 弘幸（愛知教育大院）
- 第28回静岡国際陸上競技大会（小笠山）5月3日
- 棒高跳 5.51 山本 聖途（中京大）
- 平成24年度東海学生春季競技大会（知多）4月8日
- 棒高跳 5.60 山本 聖途（中京大）
- 第46回織田幹雄記念国際陸上競技大会（広島広域）4月29日
- 県高校新記録
- 男子 5000m 13.57.65 平 和真（豊川工）
- 第66回愛知県高等学校総合体育大会（瑞穂）5月20日
- （岡田 武彦）

女性委員会

今年度は、産休のため2名の委員の交代をしました。下記のメンバーで、総務・競技・審判・選手強化・年誌資料広報の各委員会の活動に参加していきたいと思ひます。

また、愛知レディース陸上競技会、日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会、名古屋ウィメンズマラソン大会については、多くの女性審判員が必要です。女性審判員の確保に努めたいと思ひます。

1月には、全国都道府県対抗女子駅伝応援バスツアーを予定しています。本年度も多数の参加を呼び掛けたいと思ひます。

氏名	支部	氏名	支部
脇田 千鶴	西三河	本間 順子	西三河
石田美知枝	西三河	大久保真理子	名古屋
谷寄 好美	西三河	渡辺 尚巳	西三河
外山みな子	名古屋	野口 由紀	名古屋
澤木三枝子	尾張	谷川 裕子	尾張
佐藤 悦子	東三河	原田 市子	名古屋
山下ゆかり	名古屋	増田 智実	西三河
外山あゆみ	名古屋		

（脇田 千鶴）

年誌資料・広報委員会

「愛知陸協広報」26～29号編集計画（案）

号数	発行月日	編集内容
「愛知陸協広報」26号	7月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・専務理事のことば ・専門委員会報告及び今年度の活動方針 ・4地区の活動状況及び今年度の活動方針 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告（マラソンフェスティバル、国体選考、東海学生、県・東海高校総体、日本選手権等） ・理事会等会議報告 ・愛知陸協23年度収支決算報告 ・慶弔報告 ・連載「ホープさん」⑳ 「名岐駅伝いまむかし」⑰ 「クラブ紹介」㉑ 「学校紹介」⑳ 「渥美半島駅伝いまむかし」② 「陸上競技場めぐり」④
「愛知陸協広報」27号	9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長のことば ・専門委員会報告 ・4地区の活動状況 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告（県高校定通、東海地区国立、県・東海混成、小学生リレー、愛知レディース、愛知選手権、県中学通信・総体、県ジュニア、県マスターズ等） ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記（全国高校総体、全日中他） ・慶弔報告（協会会長表彰他） ・連載「ホープさん」㉒ 「名岐駅伝いまむかし」⑱ 「クラブ紹介」㉑ 「学校紹介」⑰ 「渥美半島駅伝いまむかし」③
「愛知陸協広報」28号	1月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・専務理事のことば ・専門委員会報告 ・4地区の活動状況 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告（県高校新人、国体、愛知ジャンプ、日本ジュニア・ユース、県小学生、県高校・中学駅伝、市町村駅伝、東海学生駅伝等） ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記（国体等） ・慶弔報告（秩父宮章他） ・連載「ホープさん」㉓ 「名岐駅伝いまむかし」⑲ 「クラブ紹介」㉑ 「学校紹介」⑱ 「渥美半島駅伝いまむかし」④ 「陸上競技場めぐり」⑤
「愛知陸協広報」29号	3月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長のことば ・専門委員会報告 ・4地区の活動報告 ・関係団体の活動報告 ・競技会報告（駅伝カーニバル、新春ロード・競歩、名岐駅伝、読売犬山ハーフ、マラソンフェスティバル等） ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記（駅伝関係＜全国高校、都道府県＞・マラソン他） ・慶弔報告（県体協他） ・連載「ホープさん」㉔ 「名岐駅伝いまむかし」㉑ 「クラブ紹介」㉑ 「学校紹介」⑲ 「渥美半島駅伝いまむかし」⑤

（新見 精三）

学校紹介⑬ 起工業高校 投てき王国

今回は、尾張で活躍している起工業高校を訪問しました。起工業高校は昨年、墨選手がハンマー投でインターハイ2位、国体優勝、日本ジュニア選手権優勝（日本ユース最高記録も樹立）を果たすなど、長年投てき部門で活躍を続けてきました。墨選手以外にも多数インターハイ選手を輩出し、昨年の県高校新人戦でも天野雄太選手が円盤投2位、ハンマー投1位、佐野真司選手が円盤投3位、ハンマー投3位となって尾張地区のシード権を獲得しています。また総合成績でも、尾張地区の大会では投てき部門の活躍によって何度も総合優勝を果たし、フィールドの部では負け知らずと言ってもいい形が長年続いています。起工業高校がこれだけの成績を収めている理由を、紙面の許すかぎり紹介します。

一つめは、何と言っても設備です。公立高校で円盤投・ハンマー投のケージを備えている学校は全国的にもそう多くはないと思われそうですが、そこは工業高校の強みです。自分たちの手でケージを製作することができるのです。課題研究の一環として製作されたケージが、安全な投てき練習を可能にしています。最近製作されたケージには、よく投てき物が当たってしまう箇所には膨らみを持たせる工夫が施されています。また、ネットも少々の衝撃では破れにくいものを使用して、長持ちするようにしてあります。補修が必要になっても、自分たちの手で直すことができるのはもちろんです。安全面を危惧して投てき部門の選手は作らないという学校もあると聞く中、思い切って試合同様の投てき練習ができるのは、大きな強みです。



自作のケージ



ウエイトトレーニングルーム

設備と言えば、もう一つ、ウエイトトレーニングの設備の充実を挙げることができま。以前に訪問したある私立高校ほどではありませんが、公立高校の中では上位の部に入る施設、備品が備わっているのです。以前に存在していた専攻科（卒業後に通う2年間の課程）の空き教室2部屋を利用して、十分に整った器具が設置されています。ここは全ての部が使用可で、黒板からは、部対抗でベンチプレスなどのmaxの重さを競い合っている様子が見えがわりました。王者は冒頭で紹介した墨選手で、各部門で他を大きくリードしていましたが、黒板の下の方には陸上部員の名前が列挙しており、最高記録を塗り替えるたびに新たに数字が書き込めるようになっており、これも大きな励みになっているよう

に思われました。

次に挙げられるのは、部員どうしの教え合いです。これには二つの面があります。一つめは、ある程度技術を身につけた選手どうしで教え合うものです。訪問した日には他校の県大会出場選手が1人、天野選手、佐野選手と一緒に練習していたのですが、3人で技術的な面の確認をしている場面が何度も見受けられました。他校の有力選手の練習参加を受け入れて（顧問どうしの連携を十分に図ってのうえですが）合同で練習していることそれ自体がすでに互いの刺激となってパフォーマンスの向上につながっているのでしょう。そして、選手どうしの教え合いが更に磨きをかける形となっているに違いありません。投てきは技術的な側面が非常に大きな割合を占める競技ですから、こうした形が取れていることは投てき王国を維持するうえで大きな働きをしているはずだ。



選手どうしのフォームチェック



先輩から後輩へ

もう一つは、先輩から後輩への継承という点です。ハンマー投は中学校の種目にはありませんから、誰もが入学時には初心者です。訪問した日には、その初心者である1年生部員に対して、3年生の先輩が20分ほどつきっきりで指導している姿がありました。この日ばかりでなく、普段からこうした形で練習が行なわれていて、それが投てき王国の伝統を脈々と受け継がせているのだと思いました。また、こうした中で部員どうしの人間関係もはぐくまれているのだろうとも思いました。先輩が後輩に指導すると言っても、そこに上下関係の厳しさというものはなく、暖かな人間関係が見て取れました。暖かな人間関係は投てき部門の選手どうしというだけではありません。投てき練習をしている間には、もちろん他のパートの選手たちも練習しています。安全面での配慮が必要になるのですが、互いに十分な配慮をしているように見受けられましたし、他のパートでも学年の壁は感じられませんでした。まだユニフォームを手にしていないでしょう、体育時の服装の1年生が上級生に交じって非常に和やかな雰囲気の中で練習をしていました。

選手の側からもう一点挙げておきます。それは、基礎基本を大事にしている点です。砂場を利用して砲丸投のバック投げなどの基礎練習が行なわれていたのですが、何投ずつ行なっていたのでしょうか。本数を聞き漏らしてしまいましたが、非常に長い時間をかけて行なっていました。基礎基本をないがしろにして、技術を向上させることはできません。試合の会場での華々しい活躍には、こうした積み重ねがあるのです。

最後に、顧問の平尾淳先生の指導方針に触れておきます。投てきには常に危険が伴います。顧問の先生が付き添わない形では練習ができません。どうしても時間外労働の時間が長くなってしまいます。その点に配慮して、校長先生から補助の顧問を付けようかと言われた時に、先生は「他の人にその場にいらしても、僕の代わりにはなりません」とおっしゃったそうです。自分の目で選手を見守り、選手を育てるという方針を貫かれておられることがよく分かるエピソードだと思いました。また練習にはフリーの日が設けてあり、訪問した日が投てき以外のパートがたまたまその日に当たっていたのですが、練習開始前にパートのリーダーが体育準備室を訪れて自分たちのプランを申し出ていました。自分の指導で部員を抱え込んでしまうのではなく、選手の自主性も加味しながら部活として指導をしていくという方針が十分にうかがわれるやりとりがそこでは行なわれていました。

選手と顧問の足し算で、これからも尾張の雄として起工業高校陸上部が活躍し続けていくことを願ってやみません。

(取材・文責 大西 敏功 写真 野口 一昭)

各地区報告

4月より、県陸協の一般財団法人化に伴い、各支部から各地区陸上競技協会と名称を変え、役員も以下の新しいメンバーに変更になりました。

名古屋地区

* 兼務

会 長	坂井田醇三	
副 会 長	青木 実*	
理 事 長	青木 実	
副理事長	水野 隆夫・植田 准次・砂子間英明	
理 事	24名	
会 計	大野木伸幸*	
秘 書	田中 輝彦*・青木 良樹	
監 事	若松 良一・竹内 猛	
専門委員長	総 務	水野 隆夫
	施設用器具	砂子間英明
	競 技	勝見 雅宏
	審 判	小森 好治
	選手強化	鈴木 潔
	普 及	木全 和代
	記 録	新美 隼人

2012年度第1回理事会を5月1日(火)、代表委員総会を5月8日(火)に瑞穂陸上競技場会議室で開催しました。いずれの会でも積極的なご意見を頂き、今後の情報公開に対応できるように、多方面でまとめていくことの必要性が確認され、地区陸協の目指す方向性が示されました。

5月理事会報告

<協議事項>

- 平成24年度代表委員総会(5/8)について
 - 平成23年度一般概要報告
 - 平成23年度事業報告
 - 平成23年度決算報告
 - 平成24年度事業計画案
 - 平成24年度予算案
 - 名古屋地区陸上競技協会の役員の一部変更(2012年度)
 - 競技委員長(勝見雅宏)
 - 記録委員長(新美隼人)
 - 秘書(田中輝彦・青木良樹)
- その他

<報告事項>

- 3月県陸協理事会報告
 - 法人化について
- 名古屋支部審判伝達講習会について
- マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2012について
 - 審判員(名古屋支部)数
 - ボランティア数
 - 審判養成
- 各委員会の組織化(メンバー一覧の作成)
- 名古屋市教育スポーツ協会(名古屋市スポーツ協会)派遣役員について
 - 市体協競技スポーツ事業運営審議会「審議員」青木*
 - 専門委員会(競技普及委員会・市民スポーツ祭小委員会)
 - 名古屋市教育スポーツ協会評議員 青木

- 市体協加盟団体協議会「協議員」水野
- 専門委員会活動報告
 - 総務委員会(水野)
 - 競技委員会(勝見)
 - 審判委員会(小森)
 - 記録・情報委員会(勝見)
 - 施設用器具委員会(砂子間)
 - 選手強化委員会(鈴木)
 - 普及委員会(木全)
 - 会計(大野木)
- 委員会活性化のための理事長私案の提案
 - 総務委員会
 - H.Pの管理
 - 愛知陸協の広報原稿担当関係の分担(理事長+副理事長+各委員長)
 - 地区広報の発刊(大会プログラムへ記載)
 - 競技委員会
 - 審判委員会と連携して大会のタイムテーブルの検討
 - ネットによる大会申込み
 - 審判委員会
 - 審判名簿の整理
 - 円滑な運営のための審判編成
 - 全国大会レベルの視察研修
 - 記録・情報委員会
 - 地区十傑表
 - 主催共催公認大会の申請と結果報告について
 - リザルト配付(会長+理事長+副理事長+各専門委員長)
 - 施設用器具委員会
 - 若手の審判員の養成
 - 選手強化委員会
 - 全国大会レベルの視察研修
 - 普及委員会
 - ジュニア強化練習会の計画
 - 競歩教室の計画

(青木 実)

尾 張

会 長	小椋 征弘	
副 会 長	小島 末広	
理 事 長	原川 豪	
副理事長	岡田 武彦・杉山 裕二・青山 充資	
理 事	23名	
秘 書	小出 英雄・普光 真生	
会 計	堀内 貴之・岡田 武彦	
監 事	萬谷 康幸・野木 秀之	
専門委員長	総 務	杉山 裕二
	競 技	青山 充資
	審 判	大橋 一幸
	記録・情報	野口 一昭
	施設資材	松井 祐二
	普 及	西村 嘉二
	選手強化	平尾 淳

愛知県一宮総合運動場陸上競技場が全天候型に全面改修され、リニューアルオープンしてから、3年が経過いたしました。本年はもう第1回目の検定に向けた準備として、ハードルの機種統一(ニシ製品)、スタート用器機の補充(信号器2)、幅・三段跳の測定器具導入をお願いいたします

した。オープン以来、競技場の利用人数は着実に増加し、それに伴って成果も確実に上がってきています。土曜、日曜、祝日もなれば、小学生、中学生、高校生、一般の人達で、以前とは比べものにならないくらいの盛況ぶりで、時には岐阜県からも練習に訪れるようになりました。この勢いが今後とも継続していくことによって尾張の競技力が更にアップし、他地区を圧倒するレベルにまで到達する日が来ることを願ってやみません。そのためには、尾張陸協としても競技者の強化対策をさらに進めていかなければならないと考えております。例えば、尾張陸協で競技場を借用して練習用に開放する日を設けたり、種目ごとに専門のスタッフを揃えて、技術練習の機会を設けたりするなどして、練習に対する意欲をもっと高められるような環境づくりを進める中で、競技者間の絆が深まり、お互いに切磋琢磨しあえるような人間関係を構築することが重要であると思います。前の号でも少し述べましたように尾張地区は中学校、特に一宮地区に陸上部のある学校が非常に少なく、また小学校においても社会体育系の陸上クラブは名古屋、三河地区に比べると大変少ないのが現状です。人間生活の最も基本となる運動は、走・跳・投から成る陸上競技です。特に義務教育の現場でもっと重要視されてしかるべきであると思います。こういった状況を打開していく努力も求められますが、何よりも陸上競技が好きな子どもたちを他地区へ転出させることなく、尾張地区内で温かく見守り、指導し、育てることができる体制づくりを今後の最重要課題として取り組んでいきたいと考えます。

(小椋 征弘)

西三河

会 長	柴田 和秀	
副 会 長	村上 脩一・中尾 洋一	
理 事 長	櫻井 一美	
副理事長	野村弥寿男・小林 義孝	
理 事	21名	
会 計	野村弥寿男	
秘 書	加藤 高行・山本 健一	
専門委員長	競 技	加藤 高行
	総 務	山村 晃泰
	情報処理	清水 文昭
	記 録	川浪 泰郎
	施設用器具	澤辺 泉二
	選手強化	夏目 裕暢
	普及・広報	榊原 英司
	女 性	脇田 千鶴
審 判	市川 陽明	

名称の変更にあわせ、昨年度に規約の見直しを行ない、新規約を制定しました。専門委員会の規定の見直しの中では、従来からの課題の一つであった競技会申込みのデジタル化、プログラム編成の省力化と大会全体の経費の削減に特に力を注ぎました。

一方で、大会時の各部署間のスムーズな連携、中でも当面する最大の問題であった、その際に使用するソフトを新たに選定し導入すべきか、従来ものを使用すべきか、といった問題が残ったままです。そこで今回、その解決に積

極的に取り組めることおよび、審判員への情報処理機器の使用方法を指導すべき委員会として、従来の「競技・情報処理委員会」から、「情報処理委員会」を独立させました。

他の委員会との連携も密にし、例えば「競技委員会」との連携においては、競技会参加者のデータ管理やプログラム編成の省力化がさらに進みました。また、「記録委員会」との連携においては、コンピュータを使って大会の記録整理等効率的に進めていく方法の確立といったように、委員会の枠を超えての連携を積極的に行なえるようにしました。

そして、今年度中には、データによる申込からリザルト作成まで実施することを目標としています。

(櫻井 一美)

東三河

会 長	夏目 輝久	
副 会 長	杉浦 吉春・大羽 征幸・岩瀬 金道・ 白井 良三・千葉 正士	
理 事 長	兵藤 重二	
副理事長	仲井 雅弘	
理 事	44名	
会 計	福田 勝顕・(白井 忠彦)	
秘 書	中西 征裕・山本 誠司・(白井 忠彦)	
専門委員長	総 務	山本 誠司
	競 技	市川 工
	審 判	山本 法史
	記 録	鈴木 信弘
	施 設	中村 昭広
	強 化	伊藤 博之

豊川市に待望久しい全天候型陸上競技場(第3種公認陸上競技場)が、3月末日に日本陸連の検定を終えて誕生いたしました。ロンドンオリンピックイヤーのこの年に素晴らしい陸上競技場が完成したのも何かのご縁でしょう。有効に利用していただき、豊川市また東三河の陸上競技の普及・強化に寄与していただくことを願うばかりです。

【平成24年度主な目標】

- 豊橋競技場正面スタンド建設を始めとする、諸施設の建設・改修の早期実現。
- 小・中・高・一般の計画している強化事業への人的・経済的支援。
- ホームページによる大会申込みの簡便化、大会結果の早期アップや積極的広報活動。
- 平成23年度に全日中(平成25年8月愛知)大会に向けて発足した全日中プロジェクトの更なる強化。
- 研究会・講習会・全国大会への積極的な参加による、指導者及び審判員の資質向上。
- 中部・北陸実業団対抗駅伝【11月18日(日)田原市】の成功。

平成24年度(4月1日)より当地区の名称が「愛知陸上競技協会東三河支部」から「東三河陸上競技協会」に変更となりました。関係各位には、慣れ親しんだ名称から、変わりましても上記の目標が少しでも達成されますよう引き続き積極的な参加とご支援をお願いいたします。

東三河地区の主な競技日程

〈 〉は未公認試合

数	大会名	月日	場所
1	豊橋リレーカーニバル兼東三記録会	4/7・8	豊橋
2	駅伝強化豊川長距離競技会	4/21	豊川
3	東三河小中学校記録会	4/21	豊橋
4	県高校総体東三予選	4/28・29	豊橋
5	蒲郡リレーカーニバル	5/12	蒲郡
6	東三河中学校春季大会	5/19	豊橋
7	東三河小学生リレー大会	5/27	豊橋
8	愛知県選手権兼国体東三予選	6/2・3	豊橋
9	全日中通信東三予選	6/9・10	豊橋
10	東三河中学校総合体育大会	7/20	豊川
11	東三河高校1年生大会兼ジュニア記録会	7/21	豊橋
12	東三河中学ジュニア陸上競技大会	8/4	豊橋
13	豊橋市民陸上競技大会	8/5	豊橋
14	全三河中学校陸上競技大会	8/25	蒲郡
15	県高校新人東三河予選	9/1・2	豊橋
16	駅伝強化豊川長距離競技会	9/22	豊橋
17	東三河小学生選手権大会	9/23	豊橋
18	東三河中学校新人陸上競技大会	10/6	豊橋
19	東三河陸上競技選手権大会	10/13	豊橋
20	東三河短距離記録会	11/10	豊橋
21	東三河中学校駅伝競走大会	11/10	新城
22	〈豊川シティマラソン〉	11/18	豊川
23	愛知県中学校駅伝競走大会	11/17	新城
24	〈中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会〉	11/18	田原
25	〈豊橋みなとシティマラソン〉	11/25	豊橋
26	〈第6回市町村対抗駅伝〉	12/1	万博公園
27	渥美半島駅伝競走大会	12/16	田原
28	全三河駅伝(終了後、理事会)	1/6	蒲郡
29	東三河中学校合同合宿	3/20・21	蒲郡
30	東三河高等学校春季合宿	3/末日	豊橋
31	〈第3回穂の国・豊橋ハーフマラソン〉	3/31	豊橋

(夏目 輝久)

も達の頑張りを評価していた。

3 今年度の主な大会

6月24日(日) 県小学生リレー大会(瑞穂)

8月24日(金)・25日(土)

全国小学生陸上競技交流大会(日産)

8月26日(日) 東海小学生リレー競走大会(三重県営)

11月3日(土) 県小学生選手権大会(瑞穂)

12月22日(土) 県小学生長距離競技会(刈谷)

3月16日(土)・17日(日)

全国小学生クロスカントリーリレー研修大会(万博)

(大矢 新吾・石田 伸)

中小体連

平成24年度中体連の活動について



平成25年に愛知で開催される全日本中学校陸上競技選手権大会に向けて準備を進めています。選手強化では、愛知全中出場者100名越えを目標に強化にあたり、去る3月20日に瑞穂公園陸上競技場にてジュニア強化練習会を実施しました。中学生のトップ選手に加え、小学生のトップ選手も招き、約300名近くの小・中学生が共に練習を行ないました。指導者については、強化委員会のスタッフに加え、小・中学校およびクラブチームの指導現場の最前線で指導されている方達にもご協力をいただきました。国体強化合宿・練習会においても全種目の選手、指導者が一同に会する機会はなかなかなく、たいへん良い雰囲気の中で練習をすることができました。小・中学生のトップ選手を対象とする強化練習会の試みは中体連、愛知陸協としても初めてであり、このジュニア強化練習会をステップに本年度の千葉全中、来年度の地元愛知全中に向けて大きく飛躍してくれるだろうという手応えを感じました。24年度から25年度にかけ、ジュニア強化練習会を予定していますので、各所属の指導者の皆様方、また練習会でご指導していただきます強化委員会をはじめとする指導者の皆様方、なにとぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

ここ数年、大分全中69名、鳥取全中66名、奈良全中49名という参加者で推移しています。昨年度、参加人数が若干減少いたしました。本年度は春先から好記録の報告を多数聞いていますので、本年度の千葉全中で弾みをつけ、地元愛知全中開催へ向けて参加選手を大幅に拡大していけたらと思います。競技運営面では、中体連関係者が陸協主催の大会にできる限り多く参加し、大会運営のスキルを身につけていきたいと考えています。特に、10月に行なわれます日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会では、

関係団体報告

小学生友の会

小学生友の会の活動

1 組織

今年度も下記のメンバーで小学生友の会を運営

代表・名古屋地区 石田 伸(東浦町立藤江小学校)

西三河 岩瀬吉孝(西尾市立白浜小学校)

東三河 手嶋修次(蒲郡市体育センター)

尾 張 西村嘉二(一宮市立木曾川東小学校)

2 第14回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会

3月17日(土)・18日(日)に行なわれ、愛知県代表として田原陸上クラブが出場した。雨上がりで転倒しやすい条件であったが、12位(32分22秒)でゴールした。鈴木啓司コーチは「慣れないコースでペース配分が難しかったが、上位チームによく付いて走ることができた」と子ど

全国大会特有の大会運営について学ぶ格好の機会と捉えています。多くの先生方にご協力をいただき、来年度開催の愛知全中に繋げていけたらと思います。本年度はさらに、中体連、陸協という枠を越えて、愛知全中を万全の体勢で迎えられるように、「チーム愛知」が一丸となって取り組めるように体制を整備していくつもりです。お願いすることばかりですが、ご協力なにとぞよろしくお願いいたします。

本年度の主要な大会（主な県大会以上の大会予定として）は下記のとおりです。

愛知県混成競技大会	6月30日(土)	7月1日(日)	瑞穂
愛知県中学選抜混成大会		7月7日(土)	知多
全日本中学校通信陸上競技愛知県大会	7月16日(月)		瑞穂
愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会	7月29日(日)・30日(月)		瑞穂
東海中学校総合体育大会陸上競技大会	8月11日(土)		静岡
全日本中学校陸上競技選手権大会千葉大会	8月19日(日)~22日(水)		千葉
愛知県ジュニアオリンピック陸上競技大会	9月17日(月)		瑞穂
ジュニアオリンピック陸上競技大会	10月26日(金)~28日(日)		横浜
愛知県中学校駅伝大会	11月17日(土)		新城
全日本中学校駅伝大会	12月16日(日)		山口

(久米 裕朗)

高体連

○今年の県高校総体は、3日間とも好天に恵まれ、やや風の影響があったものの、特に大きな問題もなく無事終了することができました。特に男子5000mでは豊川工業の平和真選手が素晴らしい県高校新記録を樹立しました。

県高校総体の結果につきましては、別添の記録表、及び、愛知県高体連のホームページをご覧ください。

○今年度の東海高校総体は、6月15日(金)~17日(日)の3日間、岐阜市の岐阜メモリアルセンター長良川競技場で行なわれました。今年もまた全国高校総体に向けて多数の選手の活躍が期待されます。多くの方から選手の頑張っている姿にご声援を送っていただきありがとうございます。

○全国高校総体は、7月29日(日)~8月2日(木)までの5日間、「君は今希望とともに緑の大地をかけぬける」というスローガンのもと、新潟市の東北電力ビッグスワンスタジアム(サッカーJ1新潟アルビレックスのホームグラウンド)という素晴らしい競技場において開催されます。

ホープさん②

宮脇 千博選手(トヨタ自動車)



宮脇千博は、田原市を拠点に活動しているトヨタ自動車陸上長距離部に所属する、入社3年目、20歳の選手です。まず初めに宮脇について簡単に紹介したいと思います。長野県駒ヶ根市出身。岐阜・中京高校時代に全国高校駅伝を走った経験はありましたが、3年時の1区は区間19位。国体少年A10000mは10位と、全国大会に出場するも取り立てて好成績を残しているわけではありません。しかし、彼の高校時代のレース結果を見ると大きく崩れることなく安定した成績を残していること、長距離選手に必要な不可欠な粘り強い走りができていたこと、そしてスカウトの際、彼と話をした時、目に力強い輝きを感じたことなど、彼が強くなる要素を多く感じたことを今でも思い出します。私は彼に「将来、世界を目指していこう」と話しました。

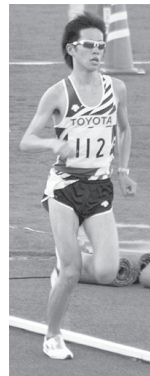
高校生の多くは、箱根駅伝を目指し大学進学が多い中、彼は実業団への道を選んでくれました。また彼の同期には、松本賢太・伊藤祐哉の高卒6名と大卒の高林祐介が入社しました。宮脇、松本、伊藤の高卒3名は彼らの苗字の頭文字を取り、「MMIプロジェクト」と称して定期的に医科学データを取りながら強化しています。1・2年目は階段登りや山登りなど、基礎的な身体作りを徹底しました。講師を招聘して、スポーツ生理学・心理学の研修や、体幹強化の補強講習なども行ないました。その効果が着実に筋力アップ等に繋がり、データとしても結果が出ています。またデータだけではなく、高卒3名の競争意識を煽り、お互いのライバル意識を高めつつ切磋琢磨して練習ができています。

そして、彼の成長には同期で入社した高林の存在が大きく影響していると思います。駒澤大学出身の高林は学生長距離界で活躍してきた選手です。宮脇と高林は寮で相部屋にしました。高林は陸上競技に対する意識が高く、目標がはっきりしている選手です。練習前や就寝前も部屋で補強を行なうなど、彼のお手本となり有形無形の影響を受けたはず。彼の陸上競技に対する意識の向上に繋がったことでしょう。

私が彼を指導して3年目になりますが、彼を見てきて言えることが、素直で真面目な選手であるということ。それと試合に対して体調を合わせるピーキングが長けているということ。私やコーチのアドバイスを素直に聞き入れ、実践していることは、御両親の育て方、高校の先生などのご指導の賜物だと思います。このような取り組みと本人の意識によって、記録も自己ベストを更新し、高いレベルで安定した記録を残しています。2011年ニューイヤー駅伝では1区区間4位で初優勝に貢献、2012年は3区区間新記録で区間賞を獲得しています。また3月に開催された全日本実業団ハーフマラソンでは、初挑戦ながら日本歴代3位の1時間00分53秒で優勝しました。このような好成績を残しても、慢心せず、謙虚な気持ちで取り組んでいる姿が彼の成長の礎となっているのだと思います。

今後の目標は、ロンドンオリンピック10000m日本代表に選ばれることです。彼は昨年11月に開催された八王子ロングディスタンスにて27分41秒57(日本歴代6位)のオリンピック参加A標準記録を突破しています。6月に開催される日本選手権の成績次第で代表が選考されます。この広報誌が発行されている頃には結果が出ていると思います。代表権争いが激しくなることは必至ですが、4年に1度のチャンスなので狙わせたいと思います。スカウトの際彼に話した「将来、世界を目指していこう」を現実のものにするために。

(トヨタ自動車陸上長距離部 監督 佐藤 敏信)



陸上競技場めぐり④ 待ちに待った豊川市陸上競技場の改修

「駅伝の町、豊川」「スポーツ振興の町、豊川」に、ふさわしい、シンボル豊川陸上競技場の改修工事が終了し、完成を祝って3月18日に完工記念イベントが行なわれた。イベントには、ミズノの室伏由佳選手、内藤真人選手ら7人のアスリートを招待し、模範競技や小学生との交流が開催された。

さて、見出しに「待ちに待った」と使ったのは、思えば長い31年間の道程であったからである。前競技場が昭和55年に愛知県中学校総合体育大会の陸上競技大会が行なわれた以後、非公認の競技場となり、市の陸協関係者で何度も公認改修陳情するも行政（財政）の面から取り上げられなかった。以後、素晴らしい選手を輩出するも大会や記録が認められなかった。

そして、現市長がマニフェストの一つに陸上競技場の改修を掲げて、今日を迎えることになった。

今回完成した3代目豊川陸上競技場の主な特徴を挙げると下記の点である。

- ①トラック内側の練習用走路（0レーン：青色）
- ②一部坂路を備えた最外周トレーニングコース（1周500m：青色）
- ③9レーンの直線走路（トラックは8レーン：レンガ色）
- ④2ヶ所の棒高跳びピット（バックストレート外と第3～第4コーナー内）
- ⑤写真判定塔と記録室
- ⑥管理棟2階スタンドに698応援席…等々

以上、素晴らしい環境ができた。豊川市のアスリートは誇りを胸に素晴らしい記録を出してほしい。また、多くのアスリートにも利用していただければ幸いである。

終わりに、この競技場改修にご尽力していただいた皆様に感謝とお礼を申し上げます。

豊川市陸上競技協会会長 岩瀬金道



新装の豊川市陸上競技場



最外周トレーニング走路

昨年は、120名近くの選手が参加し、2種目の優勝を含む22種目で入賞するというすばらしい成果を上げてくれました。今年も同様の活躍が見られると思っていますのでどうかご期待ください。

(大島 修)

でめざしていきたい。

秋季大会は、10月14日（日）知多運動公園陸上競技場で開催する。

定通部は県大会・全国大会・秋季大会の3大会が1年間の主なスケジュールである。

(松橋 政人)

高体連定通部

今年度の活動について

24年度が始まった4月上旬、自転車振興会からの補助金が減額になったが、第47回の全国大会が、例年のように東京：国立競技場で8月13日（月）から15日（水）の日程で開催されることが決まった。定通大会は補助金に頼る部分が大いなので、毎年このことながら関係者は開催決定にほっと胸を撫で下ろした。

全国大会選手選考会（愛知県定通総体）は6月10日（日）知多運動公園陸上競技場で行なわれた。各種目3位までに入賞し、参加標準記録を突破した選手が県代表となった。昨年度男子総合優勝校の科技高刈谷、女子総合優勝校の豊橋の選手を中心に活躍が期待される。

6月20日の会議で男女の4×100mR、男4×400mR愛知県選抜チームのメンバーが決まった。定通大会は全日制の学校対抗とは異なり、都道府県対抗で行なわれるので、選手は県大会ではライバルであるが、全国大会では「チーム愛知」で一つになる。7月10日に名古屋市公会堂で愛知県選手団結成式が行なわれる。

7月28日（土）に全国大会参加選手の強化練習会が刈谷市総合運動公園で行なわれる。昨年度は男女総合準優勝と好成績であったが、今年度も上位入賞を「チーム愛知」

実業団

中部実業団からロンドン五輪を目指せ！

○第56回中部実業団対抗陸上競技大会が5月12日（土）・13日（日）岐阜メモリアルセンター長良川競技場で快晴の中、今年度から会長会社となった愛知製鋼（株）の社長の藤岡高広会長ご出席のもと開催された。総合成績は以下のとおりであった。

男女総合で優勝がトヨタ自動車、2位に小島プレス、3位が豊田自動織機、男子総合では優勝がトヨタ自動車、2位が小島プレス、3位がNTN桑名。女子総合では優勝がトヨタ自動車、2位が豊田自動織機、3位が小島プレスであった。

大会新記録は2つ誕生した。男子5000mでトヨタ自動車の宮脇千博が13.43.97女子5000m競歩で三菱自動車岡崎の占部磨美が23.31.58の新記録樹立となった。

今大会での宮脇千博（トヨタ）の5000mの走りは圧巻であった。積極的なレース展開で、外国人選手との先頭争いを焦らず冷静に判断し見事に制した。彼は既に10000mのロンドン五輪のA標準をクリアしており、6月の日本選手権で勝てば自動的に代表内定となる。大いにその期待を膨らませる走りであった。

その他にNTNに新加入し、200mで追い風参考記録ながら20.82で勝った小林雄一の走りも光った。彼も標準Bをクリアしており、リレーの日本代表入りにも期待したい。

更には完全に復調した豊田自動織機の小林祐梨子が、5000mで暑いコンディションの中、B標準に9秒ほど届かないゴールタイムではあったが今後期待を抱かせる内容であった。この広報誌が発行されるのが7月上旬、従ってその頃にはロンドン五輪の日本代表は既に決定されている時期ではあるが、どうか中部連盟の所属選手が一人でも多く選出されることを期待したい。

○一方で短距離およびフィールド種目の参加人員が減少している現状もある。

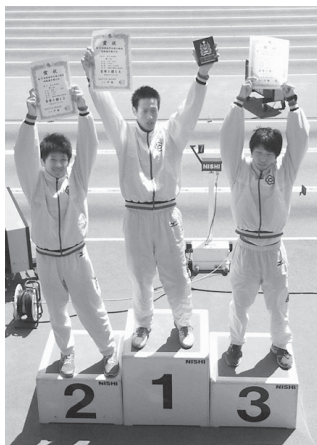
高度経済成長時代の中中部では、大昭和製紙や西濃運輸、また鉄道会社など、様々な業種の企業が連盟に登録し活況を呈したものだ。その頃のような経済状況が再来するとは思えないが、フルタイム勤務での競技生活でもまだまだ活躍している選手達が中部には沢山いる。そのような選手達に大いに自己記録更新を目指して頑張ってもらいたい。やる気があれば成就する。

○逆に、長距離選手の多くは大小の差こそあれ、総じて恵まれた環境で競技生活を続けているのが現状ではないかと思う。会社あつての競技部であるということ肝に銘じて感謝すると同時に、スタッフも含め高い目標に向かって努力精進されたいものである。

(樋高 勇二)

学 連

今年度の活動について



オリンピックイヤーである今年度は、東海学連としてロンドン五輪への代表選手派遣が大きな目標の一つである。この広報誌が発行される時にはすでにオリンピック代表選手は決定しているが、この原稿執筆時点では東海学連所属の数名の選手にオリンピック出場の可能性がある。

現時点で参加標準記録を突破しているのは男子400mHの安倍孝駿(中京大学49秒64=B標準)、男子棒高跳の山本聖途(中京大学5m60=B標準)の2名であるが、今井沙緒里(至学館大学)、市川華葉(中京大学)には女子4×100mRのメンバーとして、中野弘幸(愛知教育大学大学院)には男子4×400mRのメンバーとして代表入りの期待がかかる。さらに、十種競技の中村明彦(中京大学)にも期待がかかる。

また今年度はシーズンイン早々から日本学生新記録や東海学生新記録が多数誕生しており、前述の山本聖途選手が広島で行なわれた織田記念で男子棒高跳5m60の日本学生新記録を樹立した他、下記の東海学生新記録が誕生している。

女子マラソン：津崎紀久代(名城大学)2時間38分49秒、男子砲丸投：山元隼(中京大学)16m92、男子400m：中野弘幸(愛知教育大学大学院)45秒81、女子10000m：高木綾女(名城大学)32分24秒43、男子

110mH：和戸達哉(中京大学13秒71)

オリンピックの他に東海学連としては日本インカレでの活躍も大きな目標であるが、特に中京大学は各種目で総合的な戦力が高まってきており、日本インカレでの男子総合優勝の期待がかかる。

前述のオリンピック参加標準突破者や日本・東海学生新記録樹立者のほとんどが愛知県や岐阜県など地元東海地方の出身者であり、地元の優秀な選手を東海学連で育てていくという基本方針は今年度も継承される。その意味でも、愛知陸協や高体連とは今後ますます連携して強化を進めていく事が重要である。

(本田 陽)

愛知陸協 OB・OG 会

現在、141名の会員を擁し、年3～4回の行事を通じ、会員相互の親睦と交流を図っています。会員の皆さんは誰もがかつて陸上競技に汗を流し、今尚、各種大会の役員として大会運営を支えています。そのうちの多くが本年は7月14日愛知選手権第1日目、競技終了後、瑞穂ラグビー場で総会と懇親会を開催することになっています。その他、秋の行事、新年懇親会が楽しい集いになるよう世話人会で検討しています。

入会についての条件は入会時に男性は60歳以上70歳未満、女性は50歳以上です。陸上の仲間同志、その絆を深めるためにも一人でも多くの方々に是非ご入会くださいますようお願い申し上げます。

(村瀬雄一郎)

マスターズ陸上

心豊かな長寿社会への貢献役

今年度最初の愛知マスターズ連盟の行事は、第44回記録会を4月21日ウェーブスタジアム刈谷での開催でした。遠くは群馬や埼玉からの参加者もあり、総実人数174人延269人が参加しました。

今回から、この記録会は日本マスターズ連合の公認記録会に認められました。これまで多くの会員から記録の公認が要望されていましたが、手動計時で審判員も手簿であったため公認記録会としては認められませんでした。平成22年7月の第38回から刈谷市陸協のご協力と電気計時となりました。その後6回の経験から電気計時が定着しましたので、後は審判員の充実の課題をクリアすれば公認記録会がとれる状況となりました。そこで有志の方のお力をお借りすることで公認記録会に漕ぎ着けました。公認記録会ではプログラムを作成する必要がありますので、申し込み締切日までに申込みした日本マスターズ会員が出した記録は公認されますが、当日受付の会員の記録は、従前どおり公認はされません。

また、従来から運営上の問題になっていた小学生友の会等の参加については、止むを得ず一人1種目、1チーム30人以内とさせていただきます。この結果、タイムテーブルの進行も遅れが解消され、比較的ゆとりのある運営となり、一般参加者への迷惑も少しは解消されました。しばらくこの方法で運営していきたいと思えます。

5月13日には愛知マスターズにとって最大の行事、第23回愛知マスターズ選手権をウェーブスタジアム刈谷で

名岐駅伝いまむかし⑰

第25回大会(昭和34年) — 「一部」35チーム・「二部」54チーム参加 —

一部：中京大独走で二連勝、二部：中京商八度目の優勝、ともに大会最高記録の快走

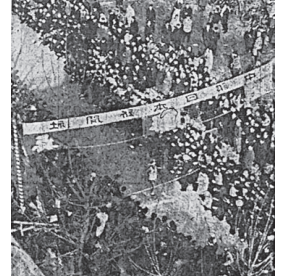


A：人ガキの中を中京大の中尾選手ゴールイン

一部は、中京大、東洋ベア、中発のビッグ3の熾烈な「昇竜旗」争いが予想されたが、最も有力視されていた中京大(塩塚、小山、日野、安藤、柳瀬、野沢、松田、中尾)が1区から首位に立ち、3、5、8区の走者の区間1位の好走もあって最後まで首位を譲ることなく、4月のボストンマラソン代表のアンカー中尾が人垣をかき分けるようにしてゴールのテープを切って、3時間55分58秒の大会最高記録で二連覇。(写真A)*

2位の東洋ベも2区(大川)と4区(藪田)が区間1位の好走で、先行する中京大にそれぞれ7秒差、21秒差まで追い上げたり、3位の中発も6区(丹羽)と7区(塚本)で区間1位の好走を見せたが、東洋ベにも68秒の差をつけられて3位に甘んじた。3位と4位とのタイム差が10分46秒もあり、上位3チームの実力が傑出していた大会でもあった。

二部は、1区で東邦(河村)がトップに立ち、以下、愛知、半田商と続く。全国高校駅伝5位、東海高校駅伝でも2位の豊橋工に4分の差をつけ、今大会でも優勝の最有力校である中京商(伊藤、永山、小田、稲垣、菊谷、近藤、岩本、鈴木)は、15秒差の5位で襷を受けた2区永山が区間1位の好走で、たちまち首位に立つ。3区以降の走者も4～8区の5人が区間1位で独走体制のままアンカー鈴木がゴール、4時間07分18秒で二連覇し、通算八度目の優勝を果たす。(写真B)*



B：鈴木選手のゴールイン(第2部)

2区以降の順位争いも熾烈で、2区では②半田商と③大同工、3区では②半田商と③東邦、4区では②東邦と③豊橋工となり、4区の順位がゴールまで続いた。

2位以下の結果は、次のようである(4位以下は愛知県勢のみ記載。以下、同じ)

一部：②東洋ベア 3.59.28 ③中央発条 4.00.36 ④新三菱A ⑤東レ愛知 ⑧愛知県庁 ⑨第一毛織 ⑩東レ名古屋 ⑪名商大 ⑫名走友A ⑬日本碍子 ⑭碧南青 ⑮新城ク ⑯東亜合成 ⑰西尾ク ⑱新三菱B ⑲三菱電 ⑳大東紡 ㉑名城大 ㉒安城ク ㉓小坂走友 ㉔森保染色 ㉕ワシノ製機 ㉖富士電機 ㉗江南走友 ㉘名走友B ㉙三菱モンサント ㉚川本製作(渥美青年ク、瀬戸陸協は棄権)

二部：②東邦 4.12.50 ③豊橋工 4.14.30 ⑤半田商 ⑧一宮商 ⑨大同工 ⑩名商大付 ⑪愛知 ⑫西尾実 ⑬渥美農 ⑭半田農 ⑮名電 ⑯市工芸 ⑰西陵商 ⑱瀬戸 ⑲犬山 ⑳瀬戸窯 ㉑足助 ㉒田口 ㉓滝実 ㉔愛知工 ㉕明和 ㉖半田 ㉗西尾 ㉘菊里(定) ㉙大府 ㉚知立 ㉛名市工 ㉜愛知商 ㉝東海 ㉞津島商工 ㉟尾北 ㊱起工 ㊲名西 ㊳昭和 ㊴名古屋商 ㊵内海(定) ㊶瑞陵 ㊷小牧 ㊸内海 ㊹長久手 ㊺木曾川 ㊻名城大付 ㊼名古屋 ㊽津島 ㊾稲沢(新城、本郷は棄権)

*写真A、Bは、「中部日本新聞(夕)」(34・1・25)より転載

第26回大会(昭和35年) — 「一部」34チーム・「二部」61チーム参加 —

一部：東洋ベア中京大の三連覇を阻止して5年ぶりの優勝 二部：中京商三連覇

一般では、ローマオリンピック候補選手の中尾、塩塚を中心に三連覇を目指す中京大とそれを阻止しようとする東洋ベアと中央発条の3チームの争いが注目された。

結果は、一区で中京大塩塚の不調もあってトップで2区走者に襷を渡した東洋ベア(愛敬、永井、奥村、藪田、馬場、斉藤、玉分、瀬戸)が、2・3・4・7区走者が区間1位の好走を見せ、5・6・8区で区間1位で追い上げた中京大に5分余の差をつけ3時間55分56秒の大会新で5年ぶり3回目の優勝。

高校では、昨年末の全国高校駅伝で6位入賞の中京商を中心に、同10位の長良、同11位の豊橋工の上位3チームが下馬評通り接戦を展開。1区長良、2区中京商、3・4区豊橋工がトップで襷を渡す。その後は5区で半田商が健闘し3位で通過した以外は6区以降は中京商、豊橋工、長良の順位は変わらず、中京商(木下、岩本、近藤、稲垣、菊谷、服部、山中、伊藤)が、4時間06分05秒で三連覇を果たす。

なお、大同工は、昨年9月の「伊勢湾台風」で甚大な被災を受けたための練習不足にも拘らず、健闘し3位入賞を果たす。

2位以下の結果は次のようである。

一部：②中京大 4.00.09 ③中央発条 A4.05.22 ④東レ愛知 ⑤渡玉毛織 ⑥新三菱A ⑦名商大 ⑧中央発条B ⑨愛知県庁 ⑩トヨタ自 ⑪東レ名 ⑫日本碍子 ⑬碧南青 ⑭名城大 ⑮東亜合成 ⑯名大 ⑰名走友A ⑱新三菱B ㉑東海理化 ㉒神鋼電機 ㉓西尾ク ㉔森保染色 ㉕江南体協 ㉖瀬戸陸協 ㉗白洋舎 ㉘名走友B

なお、⑬の東洋プライウッドは区間走者変更、②の三菱電機は1区走者ゼッケンなしのため、いずれもオミット。順位は繰上げとなる(以下、同じ)。

二部：②長良 4.11.34 ③大同工 4.12.40 ⑥東邦 ⑦名商大付 ⑧半田商 ⑨愛知 ⑩一宮商 ⑪西尾実 ⑫西尾実(定) ⑬半田農 ⑭渥美農 ⑮半田 ⑯名城大付 ⑰滝実 ⑱享栄商 ⑲本郷 ⑳明和 ㉑豊川 ㉒犬山 ㉓愛知工 ㉔西陵商 ㉕小牧 ㉖桜台 ㉗新城 ㉘足助 ㉙内海(定) ㉚安城農 ㉛田口 ㉜愛知工(定) ㉝一宮 ㉞菊里 ㉟稲沢 ㊱木曾川 ㊲瀬戸窯 ㊳名電 ㊴名古屋商 ㊵市工芸 ㊶尾張 ㊷尾北 ㊸瑞陵 ㊹津島商工 ㊺名古屋西 ㊻古知野 ㊼内海 ㊽名古屋工 ㊾名市工 ㊿東海 ㊱昭和 ㊲祖父江 ㊳名古屋 ㊴明和(定)

なお、②豊橋工と④向陽は区間走者変更のためオミット。

(西垣 完彦)

開催しました。これまで全国スポレク祭の愛知県代表の選考会を兼ねていましたが、今年度から全国スポレク祭がなくなりましたので、選手権のみの単独大会となりました。快晴に恵まれ東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県から参加者があり、また、遠路鹿児島県を含め、総勢 223 人の申し込みがありました。開会式では鶴田参与のあいさつ、原川審判長の注意をいただき、宮本百合子さんが選手宣誓をしました。

競技は日本新記録 2、愛知県新記録（日本新を除く）10、大会新（日本新、愛知県新を除く）24、大会タイ 1、と例年に比べ少し寂しい結果に終わりましたが、けが人も無く無事終了しました。なお、開会式では、日本マスターズ連合から 20 年連続会員の功労表彰された朝倉富士男、石野すゑ、小山田武、加藤重臣、鴨下克巳さんの 5 名の授賞式が行なわれました。

(佐野 昭二)

競技会報告

名古屋ウィメンズマラソン 平成24年3月11日(日) ナゴヤドーム発着

ウィメンズマラソン大会を終えて（補助員）



私はウィメンズマラソンのボランティア活動に参加し、とても貴重な体験をしました。私は走り終えた選手に飲み物を配る係で、笑顔で「お疲れ様」と言って渡すように心がけていました。参加された選手が、70 歳くらいまでの人もいて、飲み物を渡すと「ありがとう。御苦労さま」と言ってもらい、逆に元気ももらいました。私たちが配ることで少しでも喜んでもらったことが、とても嬉しかったです。

オリンピックを目指している選手、自分のペースで走る市民ランナー、楽しそうに走っている人達。どの選手も自分の目標に向かって走っている姿を見て、感動しました。

長時間配るのは大変でしたが、走り終えた人の顔や喜ぶ姿を見て、ボランティアに参加させてもらえて本当に良かったと思いました。

名城大学附属高等学校 谷 優奈

スペシャル給水・給食を担当して（競技役員）

第 1 回の女性だけのフルマラソンが、1 万人を超える規模で開催された。前身の名古屋国際女子マラソンはエリート部として編成され、一般ランナーと同時にスタート。以前はスタート時刻が 12 時 10 分と準備にも余裕があったが、今回は 9 時 10 分と大幅に早まり、20km 地点では交通規制開始時刻も迫り慌ただしい中の準備になった。

ナンバーカードの下一ケタの番号表示板とテーブルを設置し、提出されたボトルのナンバーを確認してそれぞれに置いていく。これらの準備が終わった後、呼び出しのトランシーバーのテストをした。しかし何度テストをしても相手

との交信がスムーズにできないものがあり、車両の交通規制時間が迫ってきており、使用を取りやめることになった。ハンドメガホンにて呼び出し、他の審判員がさらに目で確認することにした。

この地点はスタート時刻から 1 時間余で先頭ランナーが通過する。ロンドンオリンピック代表選手の選考会でもあり、スペシャルドリンクの重要性は大。すべてのランナーが取り損なわないように、集中する。しかし、表示板の前まで応援の人が入り、ナンバーカードの確認がしにくい。人手不足のこともあり、規制を促す走路員もいない。テーブルの設置場所横まで、応援者がメッセージボードを掲げる有様であった。審判員も不足で注意を促すことができず、その間にもどんどん選手は走ってくる。

今回は関門も従来国際マラソンより緩いため最終ランナーの確認は難しいが、5km ごとの関門で遅れた競技者はレース中止を余儀なくされる。テーブルに残ったドリンクはレース中止をさせられた選手のものかどうか、関門の担当に携帯にて主任が確認し、スペシャルテーブルを撤去。

レースはまだまだ続いており、21.2km の給水場所に向かう。おおよそのランナーがすでに通過して給水のピークは越えており、最後尾のランナーが通過後片付けに入り、本日の業務が終わった。

日本代表、完走をめざすランナーと一緒にスタートして名古屋の街を駆け巡る、初めての女性だけのフルマラソンであった。そのために審判員・走路員の不足、沿道の応援者のマナーなど反省点が多々あった。これらをふまえて、第 2 回大会がよりよい大会になるようにしたい。

川辺美和子

ウィメンズマラソンを終えて思うこと（参加者）

今回のこの大会は、女性だけのフルマラソン大会で参加人数が世界一、ギネス世界記録に認定されるビッグな大会で、この大会に走ることができて感激の気持ちでいっぱいです。また、ハーフマラソン、10km も同時に開催され、運営を担当された陸協の皆さん、沢山のボランティアの皆さん、事前準備からかなりの多忙な日々だったことだと思います。本当にご苦労様でした。



今までの名古屋国際女子マラソンと、今回のウィメンズマラソンの両方を経験し感じたことを率直に挙げてみて、今後の参考になれば幸いです。

まず良い点としてほとんどの国際ランナーが思っていることで、18.4km の関門がなくなったことです。このおかげで前半にペースが乱されることがなくなりました。コースも目新しいせいか、飽きずに走りやすかったです。

また良くなかった点で一番大変だったことは、更衣室が狭すぎたことです。1 箇所にかかなりのランナーが詰め込まれて、ムシムシしてサウナのような状態でした。中に入れないうランナーもいて外の通路で場所を作るなど、悲しい現状でした。またトイレも何十人も並ばなければ使用できず、焦りました。アップの場所も分かりづらかったです。もう一つ、最終点呼の集合場所で、人の出入りの規制が曖昧で、

ランナー以外にも沢山の人で混雑していました。

でもこの大会、全てが初めてのことばかりでしたが、今までの出場資格を持っているランナーだけでなく、多くの女性ランナーが出場でき、素晴らしい笑顔が名古屋の市街地を埋め尽くして、第1回目のウィメンズマラソン、成功だったと思います。 名城 ARC 梅原 恵子

2012 国体選手選考・強化普及競技会

2012年4月14日・15日
瑞穂公園陸上競技場・北陸上競技場

※1位のみ

	種目	記録	氏名	学年	所属	
男子	100m	10.77	長田 拓也	3	豊川高	
	200m	21.54	長田 拓也	3	豊川高	
	400m	46.57	中野 弘幸	M2	愛知教育大	
	800m	1.54.82	沼田 拓也		トヨタ自動車	
	1500m	4.00.84	林 辰也	3	惟信高	
	5000m	15.00.86	竹内 大地	2	中京大中京高	
	110mH	14.14	古川裕太郎		小島プレス	
	400mH	55.01	嶋田健太郎	3	菊里高	
	3000mSC	9.21.10	平松 翔太	3	岡崎城西高	
	5000mW	22.44.38	加藤 稔		庄内 RT	
	走幅跳	6.88	山本 研二	2	名古屋高	
	三段跳	14.83	金田 純弥	M2	名古屋工業大	
	砲丸投	12.77	小山祐一郎		密柑山	
	円盤投	31.95	本間 伸也		豊田自動織機	
	ハンマー投	51.63	石田 考正		愛知陸上DeafClub	
	やり投	52.55	湧川寿希哉	3	愛教大附属高	
	4×100mR	41.60	黒木 省悟 長田 拓也 中川 滋貴 鈴木 祐太	1 3 2 3	豊川高	
	4×400mR	3.21.82	遠藤 圭市 金宮 圭佑 夫馬 大介 宮崎 海悠	3 2 2 3	名古屋大谷高	
	男子高校	砲丸投	12.51	濱 泰光	3	工芸高
		円盤投	43.32	小出 拓実	3	名古屋高
	ハンマー投	50.95	森岡 誠也	3	長久手高	
男子A	走高跳	2.07	舟瀬 勇太		名古屋デジタル	
	棒高跳	4.50	七里 悠亮	M2	至学館大	
男子B	走高跳	1.94	榑原 潤也	3	岡崎城西高	
	棒高跳	3.80	山添 琢郎	1	豊川高	
男子少年	110mJH	15.22	岩崎 聖	1	東海高	
男子少年B	砲丸投	9.46	芳賀 勇	3	御幸山中	

	種目	記録	氏名	学年	所属
女子	100m	12.29	中野 真琴	3	豊橋東部中
	200m	25.15	丹羽愛利彩	2	愛工大名電高
	400m	57.72	竹内麻里子	1	中京大
	800m	2.16.25	安藤 実来	2	愛知教育大
	1500m	4.35.10	西川かりん	3	中京大中京高
	3000m	9.51.02	高橋 季香	3	中京大中京高
	5000m	18.52.66	近藤日佳理	M1	名古屋大
	100mH	14.21	岸 沙耶香		小島プレス

女子	400mH	1.00.66	浅岡加世子		トヨタ自動車
	5000mW	25.20.01	加藤みづ紀	2	千種高
	棒高跳	3.00	船本 新奈	2	三好高
	走幅跳	5.69	酒井 瞳味	3	岡崎城西高
	砲丸投	10.19	山之内里奈	3	名古屋南高
	円盤投	31.88	芳賀恵里香	1	愛知学院大
	ハンマー投	43.33	赤嶺 愛		豊田自動織機
	やり投	41.06	大山 葵	3	日進西高
	4×100mR	48.54	酒井 瞳味 孕石 梨花 斎藤 夏海 中山 怜佳	3 3 2 2	岡崎城西高
	4×400mR	4.03.06	細井 麻世 鈴木 夢乃 松浦 実紅 萩原加奈子	3 3 3 2	豊橋南高
女子A	走高跳	1.69	松本明日美		中京大ク
女子B	走高跳	1.56	榑原小侑希	3	至学館高
男子少年B	100mYH	15.86	渡邊友紀子 古澤 彩果	1 1	半田高 中京大中京高

2012 国体選手選考春季選抜競技会

2012年4月22日 瑞穂公園陸上競技場・北陸上競技場

※1位のみ

	種目	記録	氏名	学年	所属	
男子成年	100m	10.65	三輪 将之	3	中京大	
	400m	48.58	嶋屋 昌芳		小島プレス	
	800m	2.00.18	牧井 智哉		三菱自動車岡崎	
	110mH	14.50	吉岡 康典		中京大クラブ	
	400mH	54.04	松本 優一	1	中京大	
	走高跳	1.95	早川 周吾		安城学園 AC	
	走幅跳	7.12	金田 純弥	M2	名古屋工業大	
	砲丸投	12.13	小山祐一郎		密柑山	
	やり投	62.37	小野 顕佳	3	同志社大	
	男子少年A	100m	10.86	長田 拓也	3	豊川高
400m		49.43	宮崎 海悠	3	名古屋大谷高	
5000m		15.25.28	寺澤 摩周	3	瑞陵高	
110mH		15.08	角田 涼一	3	中京大中京高	
走幅跳		6.89	青山 耕也	3	名古屋大谷高	
三段跳		14.03	川村 浩明	3	岡崎城西高	
砲丸投		12.15	武田 朱至	3	春日井南高	
やり投		50.75	新海 哲	3	日福大附高	
男子少年B		200m	22.80	村瀬 翔太	1	中京大中京高
		3000m	9.04.74	飯島 康介	3	西浦中
	110mJH	15.32	岩崎 聖	1	東海高	
	走幅跳	6.75	渡邊圭一郎	1	中京大中京高	
	砲丸投	13.74	清水 和樹	1	春日井工高	
	男子少年共通	800m	1.59.52	森 篤士	3	名東高
走高跳		1.85	水谷 來	1	岡崎城西高	
棒高跳		4.60	高田 凌	3	岡崎城西高	
円盤投		42.11	小出 拓実	3	名古屋高	
男子J.O.A		100m	11.58	新美 泰地	3	東浦中
		3000m	9.12.54	三輪 軌道	3	東港中
	110mJH	16.13	深谷 隼斗	3	有松中	

男子 J O B	100m	11.78	和田 瑞輝	2	田原中
	1500m	4.31.56	青山 尚大	2	宮田中
	110mYH	17.64	八代 貢輝	2	AC一宮
	砲丸投	9.88	岡崎 大生	2	宮田中
男子 選手	円盤投	25.20	鈴木 魁人	3	萩山中

	種目	記録	氏名	学年	所属
女子 成年	100m	12.56	征矢 萌唯	1	至学館大
	400m	59.59	真柄美乃里	3	中京大
	800m	2.17.44	竹内麻里子	1	中京大

女子 成年	400mH	1.01.33	浅岡加世子		トヨタ自動車
	走高跳	1.65	笹島 藍		愛知アスリート
	三段跳	11.07	水野 捺恵	4	中京大
	ハンマー投	44.67	矢野 享菜	4	至学館大
女子 少年 A	100m	12.59	丹羽愛利彩	2	愛工大名電高
	400m	57.66	北野 有紀	2	愛知淑徳高
	3000m	9.39.49	西川かりん	3	中京大中京高
	100mH	14.83	齊藤 早希	3	岡崎城西高
	走幅跳	5.66	酒井 瞳味	3	岡崎城西高
	ハンマー投	31.47	天野 文菜	3	津島北高

渥美半島一周駅伝いまむかし (2)

今年には渥美半島駅伝が65年目を迎え、記念大会が盛大に行なわれる予定である。ここまで続けられた伝統ある大会の源流は、どこにあるのだろうか。豊橋陸協が県陸協、毎日新聞に働きかけた事、豊橋、田原、福江に熱心な陸上競技役員がいた事。駅伝大好きな渥美の人々によって育てられて来た事等が挙げられる。

第2回大会 (昭和24年12月18日) 「走る喜びを見つけた豊橋青年」

豊橋、渥美、八楽青年などおらが町の代表が出るという事で、沿道には大勢の応援団が繰り出し、スタート前の公会堂は毎日新聞社の小旗を振るファンでごった返していた。1区では柴田(豊橋工)が、名走友の古豪野村を抑えトップでタスキを渡す。2区に入り老津を過ぎると風は一層強く、選手を悩ませる。チーム力に勝る豊橋青年が2区、3区、5区と快走を続け、田原、福江を走る頃には、2位の福地青年を5分余り引き離し独走体制に入る。堀切、赤羽根と太平洋に沿って小旗を振る農家の人々が温かく選手を迎えてくれた。また豊橋工、新城高の活躍する場面もあったが、6区に入り田中(三菱電機)が5位から2位にまで追いつきレースを面白くした。しかし豊橋青年は余裕をもって大手町公会堂前にゴールイン。完璧な2連勝に喜ぶ笑顔には、自信が満ちあふれていた。一方初出場の岩津高は一時間余り遅れ、長い長い渥美路を走り終えた健闘ぶりは昔物語となっている。駅伝でのハプニングはつきもの。今大会の運営は中継所役員以外はなくコースの一部に石灰の矢印が書かれている程度で、トップグループを走っていた新城高がコースを間違え、後から来た選手、応援団から「オーイ!! コースが違うぞ」と大声で敵に塩を送った故事にならって情けをかけられた。大急ぎで引き返すも大差で破れる波乱のレースは、駅伝物語の一言を飾るにふさわしい大会であった。(鶴田政之 談)

第3回大会 (昭和25年12月10日)

毎日新聞社が初めて懸賞募集を行ない、駅伝ファンの興味を盛り上げる。今年には豊橋青年を始め地元渥美青年、八楽青年、知多半島駅伝の覇者福地青年、名走友メンバーを中心とした異色の香流青年が参加、高校では豊橋工、新城等が日頃の練習成果を競い合う大会となった。快晴に恵まれたものの渥美独特の寒風に悩まされるレースとなったが、区間距離、道路の変化、坂道などを考慮し、どのチームも作戦を立ててのレースとなった。3区の田原は田原藩として渡辺華山で有名な由緒ある街として古くから市(いち)が立った。この街の中心にある東海銀行が中継所となり、多くの人を集めていた。田原から江比間の海岸に出る所が難所で、砂利道と強い向風に悩まされる所である。選手も自転車部隊も歯を食いしばって苦闘する。江比間に入れば風光明媚な松並木の中を下り、韋駄天街道となる。平坦な海岸通りをひた走り福江に到着する。福江は古くから栄えた港街で伊勢との交流(人も物も)が盛んで、花街もあった。レースは豊橋工、豊橋青年、新城高、渥美青年が混戦で飛び込んで来た。福江の旧街並は大勢の人々が応援に出ており、これから堀切へ向い東に方向転換して後半のレースとなる。3連覇を目ざす豊橋青年は、杉浦、中野、水谷と区間賞を3区間を連取し、優勝を不動のものとする。地元渥美青年も8、9区で浦川、伊藤が区間賞を取り追い上げるも、今一步の所で力尽きる。豊橋青年は市内大会での予選会を勝ち抜いた穴のない強力メンバーで、他を寄せ付けず3連覇を遂げる。

第2回の成績

- 1位 豊橋青年(佐藤、中島、中島、伊藤、杉浦、中野、水谷、兵藤、巧木) 5時間39分00秒
 2位 三菱電機 3位 福地青年 4位 名走友 5位 渥美青年
 区間賞 1区柴田敏男(豊橋工) 2区中島岩男(豊橋青年) 3区中島育男(豊橋青年) 4区岩田 寛(名走友)
 5区杉浦元幸(豊橋青年) 6区中野秋男(豊橋青年) 7区水谷一夫(豊橋青年) 8区安形行男(新城高)
 9区鶴田政之(名走友)

第3回の成績

- 1位 豊橋青年(佐藤、笹野、中島、彦坂、杉浦、中野、水谷、坂神、兵藤) 5時間46分47秒
 2位 渥美青年 3位 福地青年 4位 新城高 5位 香流青年
 区間賞 1区真木昭夫(豊橋工) 2区笹野富男(豊橋青年) 3区林 博之(新城高) 4区白井好信(渥美青年)
 5区杉浦元幸(豊橋青年) 6区中野秋男(豊橋青年) 7区水谷一夫(豊橋青年) 8区浦川力留(渥美青年)
 9区伊藤文雄(渥美青年) (牧田 功)

女子少年B	200m	27.00	武内 琴子	1	至学館高
	1500m	4.48.45	金尾 南実	1	至学館高
	100mYH	15.31	渡邊友紀子	1	半田高
	走幅跳	5.16	土屋友梨奈	3	古知野中
女子少年共通	800m	2.17.22	大久保紗希	2	至学館高
	走高跳	1.60	杉浦 澄美	2	岡崎城西高
	棒高跳	2.80	松下 琴子	3	中京大中京高
	砲丸投	10.69	丸山 夏美	2	碧南高
	やり投	41.42	大山 葵	3	日進西高
女子J O A	100m	12.67	中野 真琴	3	豊橋東部中
	3000m	10.39.43	山田 海鈴	3	田原中
	走高跳	1.45	陶山 朋伽	3	有松中
女子J O B	砲丸投	9.10	浅井 結稀	3	富士中
	100m	12.73	掛川 栞	2	栄中
	1500m	4.59.65	平形 綾乃	2	高豊中
	100mH	15.65	鈴木 瑞希	2	扇台中
	走幅跳	5.09	明星 光	2	とよたA C
女子共通	砲丸投	8.70	鈴木 咲耶	2	富士中
	円盤投	25.07	浅井 結稀	3	富士中

	種目	記録	氏名	学年	校名
女子トラック	100m	11.82	今井沙緒里	4	至学館大
	200m	24.10	今井沙緒里	4	至学館大
	400m	57.09	作野 捺希	3	至学館大
	800m	2.10.52	竹内麻里子	1	中京大
	1500m	4.33.39	鈴木亜由子	3	名大
	5000m	16.22.17	鈴木亜由子	3	名大
	10000m	34.10.65	八木 絵里	4	名城大
	100mH	13.91	桐山 智衣	3	中京大
	400mH	1.00.24	齋藤 結	4	中京大
	3000mSC	10.34.93 GR	花岡 紗耶	4	愛教大
女子トラック	10000mW	50.08.27	長谷川 睦	M2	至学館大
	4×100mR	46.73	征矢 萌唯 後藤 香奈 伊藤 瑞希 今井沙緒里	1 3 1 4	至学館大
女子フィールド	4×400mR	3.46.89	塩野谷幸依 松浦 加奈 下道 美奈 作野 捺希	3 3 4 3	至学館大
	走高跳	1.69	岩田 未玲	1	至学館大
	棒高跳	3.50	斉藤希望花	2	中京大
	走幅跳	5.92	桐山 智衣	3	中京大
	三段跳	11.83	河澄 真子	4	中京大
	砲丸投	14.41	中田恵莉子	2	中京大
	円盤投	47.00	中田恵莉子	2	中京大
	ハンマー投	50.55	加藤 晴香	4	中京大
	やり投	47.16	横山真理奈	2	至学館大
	混成	七種競技	5094	桐山 智衣	3

第78回東海学生陸上競技対校選手権大会
 平成24年5月11日(金)～5月13日(日)
 瑞穂公園陸上競技場・瑞穂公園北陸上競技場

※1位のみ

※GR:大会新記録 *C2:走幅跳セカンドで公認 *C1:追風参考(得点非公認)

	種目	記録	氏名	学年	校名
男子トラック	100m	10.61	川野 恭弘	4	岐阜大
	200m	21.29	加藤 良祐	5	豊田高専
	400m	47.48	榎木 勝吾	3	中京大
	800m	1.49.99 GR	北島 寛也	2	中京大
	1500m	4.05.28	横田 成哉	4	中京大
	5000m	14.52.05	近藤 駿一	3	中京大
	10000m	31.38.03	芝田 遼	4	中京大
	110mH	14.07	和戸 達哉	4	中京大
	400mH	50.73	天野 裕太	4	至学館大
	3000mSC	9.19.16	増田 誠	4	中京大
男子トラック	10000mW	47.00.82	稲吉 悠多	1	至学館大
	4×100mR	40.99	西村 尚芳 増田 貴 東 魁輝 加藤 慎也	3 2 1 1	岐阜経済大
男子トラック	4×400mR	3.07.31 GR	榎木 勝吾 安井 一樹 古川 拓夢 中村 明彦	3 4 4 4	中京大
	走高跳	2.15	衛藤 昂	S2	鈴鹿高専
	棒高跳	5.40 GR	山本 聖途	3	中京大
	走幅跳	7.43	手平 裕士	2	中京大
	三段跳	15.62	佐脇 匠	3	愛教大
男子フィールド	砲丸投	15.59	山元 隼	3	中京大
	円盤投	45.88	湯上 剛輝	1	中京大
	ハンマー投	60.77	遠藤 克弥	3	中京大
	やり投	60.93	圓本 真也	1	中京大
	混成	十種競技	6931*C2*C1	中村 明彦	4

最優秀選手 山本聖途 中京大 棒高跳 優勝 大会新

最優秀選手 今井沙緒里 至学館大 100m、200m、4×100mR 優勝

第66回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会
 兼秩父宮杯第65回全国高等学校陸上競技対校
 選手権大会東海地区予選会愛知県大会
 2012年5月18日(金)～20日(日)名古屋瑞穂公園陸上競技場

※1位のみ ※PH:県高校新、GR:大会新

	種目	記録	氏名	学校名
男子トラック	100m	10.85	長田 拓也	豊川
	200m	22.19	宮崎 海悠	名古屋大谷
	400m	49.84	宮崎 海悠	名古屋大谷
	800m	1.56.50	櫻川 皓市	瑞陵
	1500m	4.00.19	木下 雅裕	愛知
	5000m	13.57.65 (PHGR)	平 和真	豊川工
	110mH	14.44	山本 健太	阿久比
	400mH	53.43	角田 涼一	中京大中京
	3000mSC	9.06.32	成瀬 雅俊	豊川工
	5000mW	21.33.98	山田 康太	愛知
男子トラック	4×100mR	41.37	大場 将太 長田 拓也 中川 滋貴 鈴木 祐太	豊川
	4×400mR	3.16.06	遠藤 圭市 川野 直哉 木屋川内浩二 宮崎 海悠	名古屋大谷
男子フィールド	走高跳	2.00	中村 仁	名古屋大谷
	棒高跳	4.80	小木曾優作	中京大中京
	走幅跳	7.02	青山 耕也	名古屋大谷

男子 フィールド	三段跳	14.32	川村 浩明	岡崎城西
	砲丸投	13.53	杵本 裕貴	名古屋
	円盤投	43.03	小出 拓実	名古屋
	ハンマー投	51.73	杉山裕之介	名古屋
	やり投	56.28	鈴木 庸太	豊橋商
	八種	5442点	青山 耕也	名古屋大谷

総合

- ①名古屋大谷 47点 ②名古屋 46点 ③中京大中京 44.3点
トラック
①豊川 32点 ②中京大中京 32点 ③名古屋大谷 25点
フィールド
①名古屋 30点 ②岡崎城西 25点 ③名古屋大谷 16点

※1位のみ ※PH：県高校新、GR：大会新

	種目	記録	氏名	校名
女子 トラック	100m	12.33	丹羽愛利彩	愛工大名電
	200m	25.26	丹羽愛利彩	愛工大名電
	400m	57.08	吉川 侑希	中京大中京
	800m	2.14.11	佐々木明花	岡崎城西
	1500m	4.39.41	鷺見 梓沙	豊川
	3000m	9.35.12	西川かりん	中京大中京
	100mH	13.89 (GR)	萩原加奈子	豊橋南
	400mH	1.02.53	吉川 侑希	中京大中京
	5000mW	25.02.86	加藤みづ紀	千種
	4×100mR	48.15	石川加奈子 杉山 美貴 吉川 侑希 森 佑紀那	中京大中京
4×400mR	3.55.65	野村 真由 竹内 涼子 大久保紗希 村山 菜月	至学館	
女子 フィールド	走高跳	1.70	杉浦 澄美	岡崎城西
	走幅跳	5.55	酒井 瞳味	岡崎城西
	砲丸投	10.92	丸山 夏美	碧南
	円盤投	31.95	安藤かすみ	至学館
	やり投	44.26	大山 葵	日進西
	七種	4531点	貫井 茜	明和

総合

- ①中京大中京 49点 ②至学館 41点 ③岡崎城西 27点
トラック
①中京大中京 43点 ②千種 23点 ③豊川 19点
フィールド
①至学館 24点 ②岡崎城西 12点 ③三好 7点

第59回東海高等学校総合体育大会兼秩父宮賜杯
第65回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会
平成24年6月15日(金)～6月17日(日) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子

斜体：大会新

種目	順位	記録	氏名	学校名
100m	1	10.75	長田 拓也	豊川
	5	10.85	児島 大樹	江南
	6	10.88	鈴木 祐太	豊川
200m	3	21.47	丹羽 勇揮	春日井南
	4	21.59	宮崎 海悠	名古屋大谷

400m	2	47.93	中川 滋貴	豊川
	5	48.41	宮崎 海悠	名古屋大谷
	6	48.56	名倉 義貴	岡崎北
	8	48.57	奥田 裕也	岩倉総合
800m	1	1.55.25	櫻川 皓市	瑞陵
	2	1.55.36	野津 亮祐	中京大中京
	8	2.00.63	松井 綾人	愛知
1500m	2	3.59.58	金尾 圭祐	豊川工
5000m	1	13.52.51	カレミ ジェレミアズク	豊川
	3	14.27.38	平 和真	豊川工
	4	14.36.80	金尾 圭祐	豊川工
110mH	2	14.73	山本 健太	阿久比
	3	14.76	角田 涼一	中京大中京
	4	14.78	古元 翼	名古屋
	8	15.06	矢野 智大	中京大中京
400mH	2	53.07	下里 功大	愛工大名電
	6	54.54	水野 敬介	一宮
3000mSC	1	9.03.44	成瀬 雅俊	豊川工
	2	9.11.45	竹内 大地	中京大中京
	3	9.11.88	佐藤 淳	明和
	7	9.14.88	鈴木 太基	豊川工
5000mW	1	21.35.92	山田 康太	愛知
	2	21.38.87	及川 文隆	愛知
	3	22.19.50	齊藤 凱	岡崎城西
4×100mR	1	40.99	黒木 省悟	豊川
			長田 拓也	
			中川 滋貴	
			鈴木 祐太	
4×400mR	1	3.12.92	金宮 圭佑	名古屋大谷
			川野 直哉	
			木屋川内浩二	
			宮崎 海悠	
4×400mR	4	3.14.57	富田 恭兵	豊川
			長田 拓也	
			中神 真哉	
			中川 滋貴	
走高跳	1	2.04	中村 仁	名古屋大谷
	2	2.01	藤城 昇太	三好
	3	1.98	水谷 來	岡崎城西
	4	1.98	榑原 潤也	岡崎城西
棒高跳	2	4.70	小木曾優作	中京大中京
	4	4.70	高田 凌	岡崎城西
	6	4.60	鈴木 康太	岡崎城西
走幅跳	2	7.34	二宮 聡史	岡崎北
	3	7.18	青山 耕也	名古屋大谷
	4	7.14	野本健太郎	岡崎北
三段跳	5	14.50	小木曾優作	中京大中京
	6	14.43	清野 達也	安城学園
	8	14.24	遠山 雄耶	名古屋大谷
円盤投	2	46.08	小出 拓実	名古屋
	6	43.65	杵本 裕貴	名古屋
ハンマー投	5	53.41	杉山裕之介	名古屋
	8	51.78	森岡 誠也	長久手
やり投	6	56.61	新海 哲	福祉大付

八種競技	1	5438	平林 卓磨	名城大附
	2	5428	坂本 憲哉	一宮
	3	5337	青山 耕也	名古屋大谷
	4	5168	河合 慶弥	岡崎城西
総合	1位：豊川 27点		3位：名古屋大谷 25点	
トラック	1位：豊川 27点		5位：豊川工 18点	
フィールド	4位：岡崎城西 10.5点		5位：名古屋大谷 10点	

4×400mR	8	3.55.09	森 佑紀那	中京大中京
			早川 有香	
			吉川 侑希	
			深谷 亜以	
走高跳	1	1.73	杉浦 澄美	岡崎城西
	6	1.64	榑原小侑希	至学館
	7	1.64	金原 智子	安城学園
走幅跳	1	6.00	浅井 真子	光ヶ丘女子
	2	5.88	酒井 瞳味	岡崎城西
	4	5.56	菅原 美里	瑞陵
やり投	3	42.78	大山 葵	日進西
	7	40.57	森 凧紗	名城大附
七種競技	2	4491	貫井 茜	明和
	3	4467	平手 佑佳	名城大附
	5	4260	平井 菜月	半田
総合	2位：岡崎城西 20点		3位：中京大中京 19点	
トラック	2位：中京大中京 19点		4位：豊川 13点	
フィールド	2位：岡崎城西 11点		4位：光ヶ丘女子 6点	

女子

斜体：大会新

種目	順位	記録	氏名	学校名
100m	2	12.07	丹羽愛利彩	愛工大名電
	4	12.34	伊藤 南侑	豊田
200m	1	24.44	丹羽愛利彩	愛工大名電
	3	24.81	野村 真由	至学館
	5	24.99	檜山 楓	津島
	7	25.09	北野 有紀	愛知淑徳
400m	3	55.95	檜山 楓	津島
	4	56.03	吉川 侑希	中京大中京
	6	56.73	北野 有紀	愛知淑徳
800m	3	2.14.90	佐々木明花	岡崎城西
	5	2.15.66	森田 琴乃	千種
	7	2.15.69	横山友里乃	愛知
	8	2.16.45	尾崎 志帆	一宮西
1500m	1	4.30.66	鷺見 梓沙	豊川
	3	4.31.72	西川かりん	中京大中京
	7	4.35.13	山田日菜野	豊川
3000m	1	9.27.65	西川かりん	中京大中京
	3	9.29.08	神薗 佳苗	豊川
	4	9.29.12	加治屋ななこ	豊川
	6	9.37.33	北本可奈子	千種
	7	9.44.31	宮田佳菜代	豊川
100mH	1	13.92	萩原加奈子	豊橋南
	6	14.40	齊藤 早希	岡崎城西
400mH	1	1.01.34	吉川 侑希	中京大中京
	3	1.02.89	梶田 幸	春日井
5000mW	3	25.01.73	加藤みづ紀	千種
	4	25.14.29	中村 仁美	一宮西
	6	25.41.61	橋本 記江	一宮西
4×100mR	3	47.76	中山 怜佳	岡崎城西
			酒井 瞳味	
			齊藤 早希	
			孕石 梨花	
6	48.14	手嶋 風理	光ヶ丘女子	
		大平 千夏		
		鈴木万由子		
4×400mR	5	3.54.64	浅井 真子	一宮西
			村山 絢美	
			島川 葵	
			長尾 楓	
			尾崎 志帆	
6	3.54.70	野村 真由	至学館	
		村山 菜月		
		武内 琴子		
		大久保紗希		

第96回 日本陸上競技選手権大会
兼第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン)
代表選手選考競技会
 2012年6月8日～6月10日 大阪市長居陸上競技場

男子

種目	順位	記録	氏名	学校名
400m	2	46.23	中野 弘幸	愛知教育大
	7	47.13	安井 一樹	中京大
5000m	8	13.51.63	松本 賢太	トヨタ自動車
10000m	3	28.20.76	宮脇 千博	トヨタ自動車
400mH	2	49.38	中村 明彦	中京大
走高跳	6	2.10	舟瀬 勇太	名古屋デジタル
棒高跳	1	5.42	山本 聖途	中京大
走幅跳	6	7.55	木村 友紀	愛知陸協
	7	7.51	東 孝一	小島プレス
三段跳	8	15.77	山本 雄介	小島プレス
ハンマー投	1	72.85	室伏 広治	ミズノ
	8	62.94	久保 浩司	中京大クラブ

女子

種目	順位	記録	氏名	学校名
100m	7	11.84	今井沙緒里	至学館大
200m	2	23.62	市川 華菜	中京大
	4	23.95	今井沙緒里	至学館大
1500m	5	4.21.44	後閑美由紀	豊田自動織機
5000m	4	15.33.21	小林祐梨子	豊田自動織機
3000mSC	8	10.33.00	空山真由美	小島プレス
走高跳	4	1.75	松本明日美	中京大クラブ
	6	1.75	河澄 真子	中京大
円盤投	2	52.37	室伏 由佳	ミズノ
	6	48.78	江島 成美	チームズアスレティック
ハンマー投	5	56.68	野田 奈央	名古屋学院クラブ

理事会等会議報告

○第一回理事会 24年3月21日(水) 18:30 教育会館

1 協議事項

- ① 役員の選任について
- ② 定款細則について

2 報告事項

- ① 平成24年度競技日程について
- ② 日本陸連理事会報告
- ③ 各専門委員会より
- ④ その他

○6月理事会 24年6月12日(火) 18:30 教育会館

1 協議事項

- ① 平成23年度一般概要報告
- ② 平成23年度事業報告
- ③ 平成23年度決算報告
- ④ 平成24年度事業計画
- ⑤ 平成24年度予算
- ⑥ 定款細則について
- ⑦ 東海陸上競技協会表彰者の推薦について

2 報告事項

- ① 平成24年度愛知陸協役員について
- ② 平成24年度要覧について
- ③ 平成24年度愛知陸協会長表彰の推薦について
- ④ 第72回愛知選手権大会選手権賞寄贈者について
- ⑤ 西田・高橋記念国際室内棒高跳大会について
- ⑥ 2012日本ジュニア・ユース選手権大会について
- ⑦ 2013マラソンフェスティバル・愛知について
- ⑧ 各専門委員会の報告
- ⑨ 日本陸連理事会報告
- ⑩ その他 (稲垣 裕)

平成23年度 愛知陸上競技協会収支決算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

収入の部 130,922,528円
 支出の部 110,282,292円
 差引差額 20,640,236円

収入の部

単位：円

科目	予算	決算	差異
前年度繰越金	18,403,000	18,703,746	300,746
加盟金	20,300,000	21,529,850	1,229,850
補助金	1,175,000	975,000	△200,000
分担金	45,000,000	54,378,476	9,378,476
協賛金	350,000	200,000	△150,000
交付金	8,500,000	5,559,000	△2,941,000
広告料	200,000	318,800	118,800
参加料	22,450,000	23,170,660	720,660
小学生友の会	600,000	304,500	△295,500
雑収入	6,177,000	5,782,496	△394,504
合計	123,155,000	130,922,528	7,767,528

支出の部

単位：円

科目	予算	決算	差異
運営費	20,955,000	23,275,842	2,320,842

事業費	82,676,000	85,563,690	2,887,690
競技会費	20,876,000	19,580,024	△1,295,976
共催事業費	34,420,000	37,141,046	2,721,046
派遣費	12,120,000	12,556,064	436,064
強化費	10,510,000	11,549,256	1,039,256
強化合宿費	8,400,000	7,923,309	△476,691
普及費	4,750,000	4,737,300	△12,700
負担金	1,900,000	942,760	△957,240
基本金	500,000	500,000	0
予備費	17,124,000	0	△17,124,000
合計	123,155,000	110,282,292	△12,872,708

栄 章

おめでとうございます

平成23年度愛知県体育協会表彰

日時 平成24年3月14日(水) 15時30分

場所 ウィルあいち

- ・功労賞 佐藤 和幸 青山 充資
- ・特別優秀選手賞 室伏 広治 (世界選手権優勝)
- ・優秀選手賞 中村 明彦 今井沙緒里
小林祐梨子 室伏 由佳
- ・日本記録 市川 華菜
- ・国体優勝 中野 弘幸 墨 訓熙
古元 翼
- ・日本選手権等優勝 室伏 広治 室伏 由佳
中野 弘幸 今井沙緒里
鈴木亜由子 岡田 壮平
ワイナイナムルギ 安藤 友香
宮田佳菜代 加治屋ななこ
福沢 志穂 神蘭 佳穂
小林 礼佳 神蘭 奈苗
大原 康平 米重 美紅

(稲垣 裕)

お く や み

長年本県の陸上競技発展のため多大なるご尽力をいただきまして、ありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名 逝去年月 支部名
 滝 憲三 24・4 尾 張

編 集 後 記

▽オリンピックイヤーのシーズンが始まり、地元愛知から5名の代表が選出された。本番での大活躍を期待したい。
 ▽一般財団法人としてスタートした愛知陸協。今後益々陸上競技の普及・発展に寄与出来るよう、各地区・各層の努力が求められる。▽原稿をお寄せいただいた方々に多謝。

編 集 委 員

- 大西 敏功 小坂 拓 榊原 英司 寺尾 健
- 外山みな子 新見 精三 西垣 完彦 野口 一昭
- 横田小百合